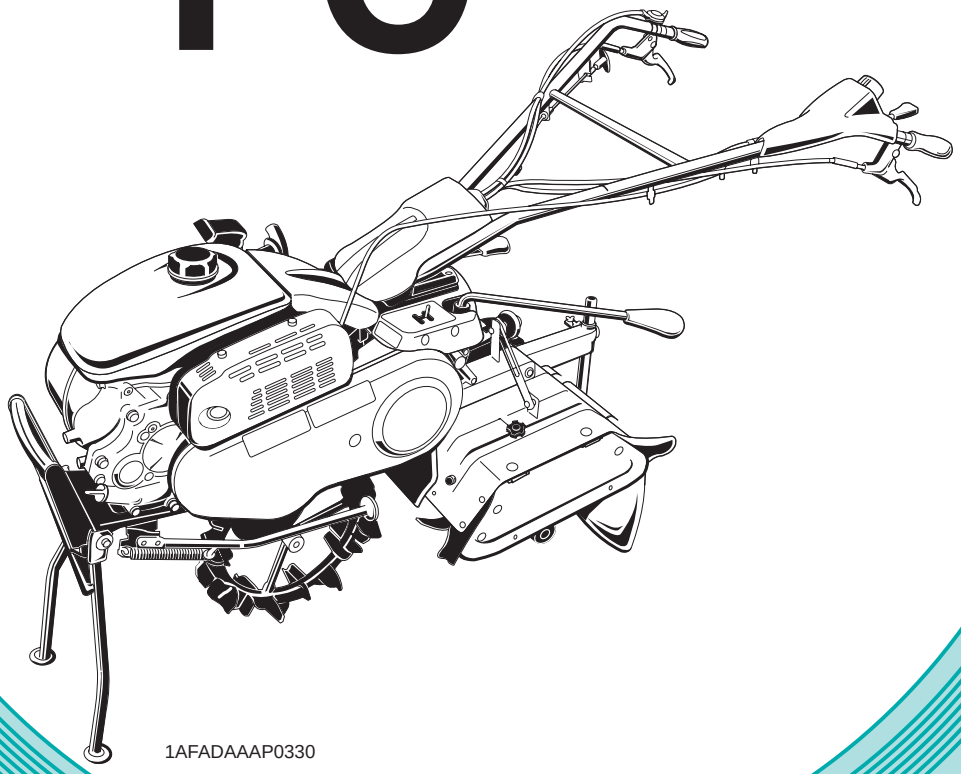
クボタ管理機

取扱説明書

TS 550(W)
750(W)

PC 750



1AFADAAAP0330

Operator's manual

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですのでよく理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

	エンジン停止		チョークレバー
			ガソリン燃料

専門用語の説明

O	燃料コック［開］	C	燃料コック［閉］

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は本製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠安　全　第　一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの販売店に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ 危　険	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警　告	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注　意	注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。
重　要	注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
補　足	その他，使用上役立つ補足説明を示します。

目　次

⚠安全に作業するために

運転する前に 1
始動するとき 2
移動，作業するとき 3
作業が終わったとき 7
点検，整備をするとき 7
表示ラベルと貼付け位置 10
表示ラベルの手入れ 11

サービスと保証について

各部の名称と装置の取扱い

機体方向説明と装置の名称 2
各部の名称とはたらき 4
主クラッチレバー 4
ロータリクラッチレバー 4
主変速レバー 4
ロータリ変速レバー 5
ハンドル上下レバー 5
ハンドル回動レバー 6
後進ケンセイレバー 6
ロータリケンセイ装置 6
エンジンスイッチ 7
リコイルスタータ 7
燃料コックレバー 7
チョークレバー 7
スロットルレバー 8
燃料キャップ 8
マフラ 8
スタンド 8
サイドスタンドレバー
（１輪仕様のみ，クローラ仕様除く） 9
トルクリミッター 9

作業前の点検

調子よく作業するために 10
安全に作業するために 12

運転のしかた

新車時の扱いかた 13
ならし運転（最初の 10 時間まで） 13
エンジンの始動と停止のしかた 13
始動のしかた 13
停止のしかた 14
発進のしかた 16
各部の調節 16
エアクリーナの調節 16
ハンドル高さの調節 16
ハンドルの回動 17
耕深調節のしかた 18
正転作業 18
逆転作業 19
トルクリミッターが働いた場合 19
車輪幅の調節のしかた（２輪仕様のみ） . . . 20
ゴムクローラの調節
（ゴムクローラ仕様のみ） 20
上手な作業のしかた 21
耕うん作業手順 21
旋回手順 21

管理機の簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について 22
日常の手入れ 22
エンジンオイルの交換 22
ミッションオイルの交換 23
エアクリーナエレメントの清掃と
オイル交換 24
燃料パイプの交換 25
燃料フィルタの清掃 25
タイヤ空気圧（タイヤ仕様の場合のみ） . . . 25
点火プラグの調節・清掃・交換 26
主クラッチケーブルの調節 26
ハンドル上下調節 28
ロータリクラッチの調整 28
耕うん爪の取付けかた 29
使用後の手入れ 32
エンジン始動不良を防ぐために 32
長期格納時の手入れ 32
燃料の抜取り 32
洗車時の注意 33

管理機を運搬するとき

自動車（トラック）への積込み，運搬 . . 34

付表

主要諸元 35
標準付属部品 36
主な消耗部品一覧表 37

トラブルと処置

⚠ 安全に作業するために　　必ず読んでください

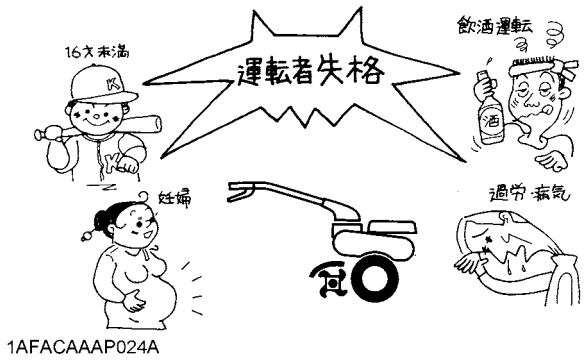
本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で ⚠危 険・⚠警 告・⚠注 意・重 要・補 足 としてそのつど取上げています。

運転する前に

■ 使用する人は

機械の運転操作，特に主クラッチ**【切】**はすばやくできるよう，よく練習し，十分に慣れてから作業してください。
次の項目に該当する場合は，機械を使用しないでください。

- 本書及びラベルの内容が理解できない人
- 視力不足等のため表示内容が読めない人
- 飲酒時や体調が悪いとき，また妊娠中の人
- 16 才未満の人
- ハンドルを操縦する体力に自信のない方

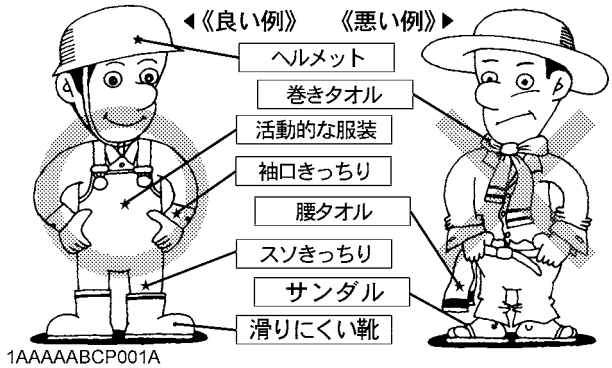


1AFACAAAP024A

■ 使用する人の服装は

- 回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になる，だぶついた服，腰タオルなどはやめてください。
- ヘルメット，安全靴，保護メガネや手袋などを必要により着用してください。

作業時の服装



1AAAAABCP001A

■ 周囲への注意

- 子供，ペットを近づけないでください。
- 見物人を近くに寄せないでください。
- 共同作業者がいるときは，互いに注意してください。

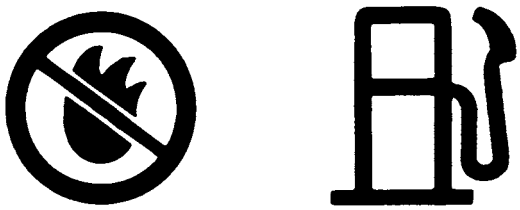
■ 他人に貸すときは

- 事前に運転のしかたを教え，**[取扱説明書]** を必ず読んでもらってください。

1AHACACAP001A

■ 給油・注油するとき［火気厳禁］

- 燃料の給油・各部への注油時は必ずエンジンを停止し，規定量以上入れないでください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間は火災のおそれがあるので給油はしないでください。
- 煙草を吸ったり火気を近づけないでください。
- 給油口の赤色ゲージ以上に燃料を入れないでください。
- 燃料補給後，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。
- こぼれた燃料はふき取ってください。

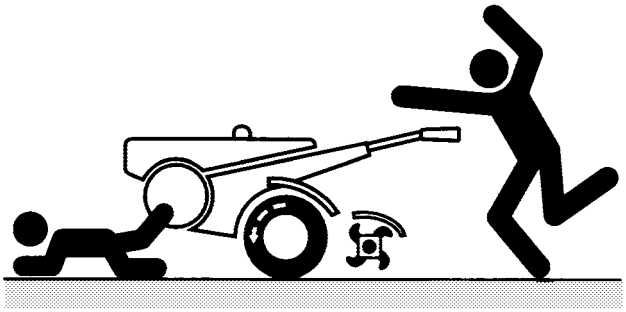


1AFACAAAP025A

始動するとき

■ エンジンを回すとき

- 必ず本機の主クラッチレバーを **[切]** り，主変速レバー及びロータリ変速レバーを **[中立]** にして，付近に人（特に子供）を近づけないでください。もし主クラッチや変速が入っていると車体や爪軸が急に動いて事故になるおそれがあります。
- リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。



1AFACAAAP026A

■ 排気ガスに注意

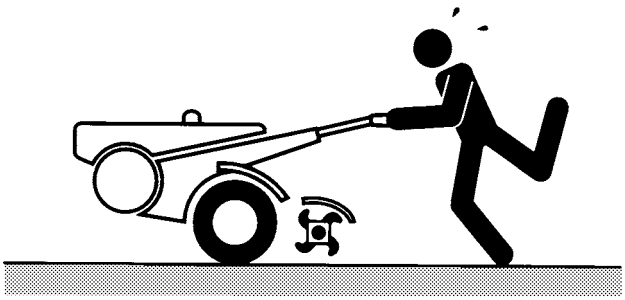
排気ガスによる一酸化炭素中毒のおそれがあるので，換気の悪い所（ハウス，車庫等）では使用しないでください。

1AFACAAAP027A

移動，作業するとき

■ 発進するとき

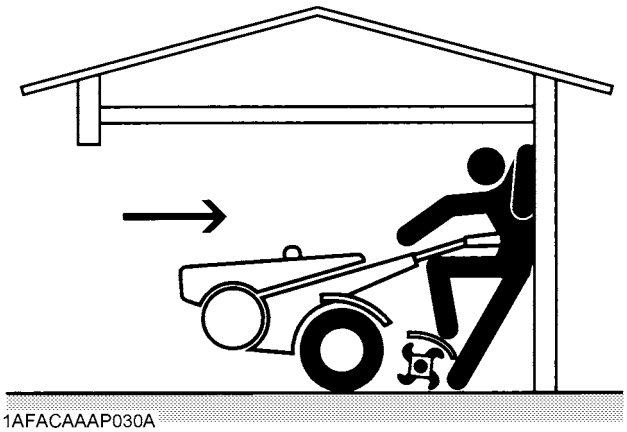
- 移動時は，ハンドルを正位置に確実に固定してください。
- 速い速度での走行は十分注意してください。
- 車速の最低速で主クラッチレバーの**［入］**はゆっくり，**［切］**はすばやくの操作を習熟した上で使用してください。
- 小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。転倒などのおそれがあります。
- 後進の発進時は，ハンドルが持ち上がりやすいので，エンジンの回転を下げ，しっかりハンドルを押えながらゆっくり主クラッチを入れてください。



1AFACAAAP028A

■ ハウス，車庫等での移動

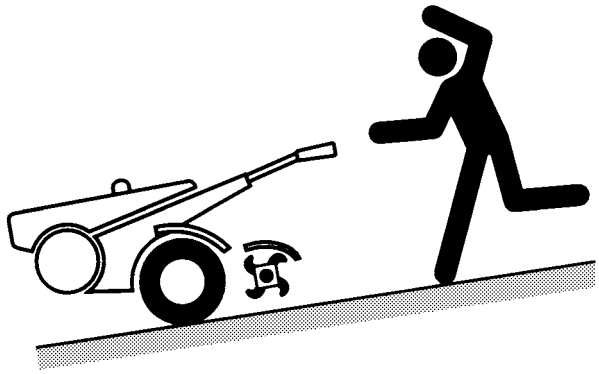
- 後方の壁，支柱，天井など障害物にはさまれるおそれがあるのでエンジン回転を下げて後進してください。
- 屋根の低いハウス内や車の荷台では，エンジンを停止して手で引き出してください。



1AFACAAAP030A

■ 坂道を移動するとき

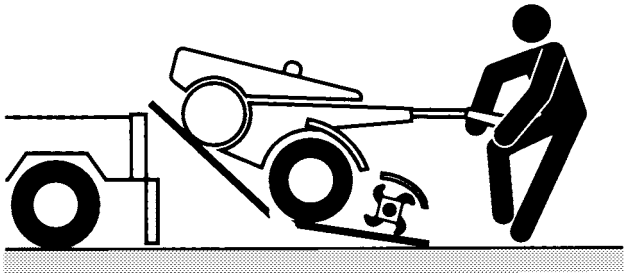
- 坂道，ほ場の出入り，畦の乗越え等の途中で主クラッチを**［切］**ったり，主変速を**［中立］**にすると，機体が思わぬ方向に進み危険です。
- 変速操作は，機械が平坦な場所以外では行なわないでください。落下や転倒のおそれがあります。
- 坂道や凹凸，カーブの多い路上で高速運転すると，転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。



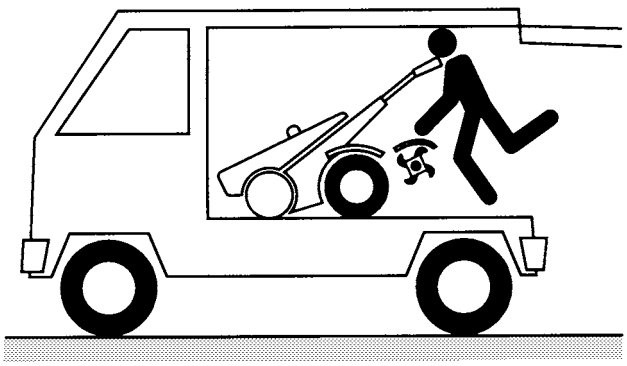
1AFACAAAP031A

■ 運搬・積降ろしするとき

- 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
- アユミ板はすべり止めのついた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ**［1］**に対しアユミ板の長さ**［4以上］**のものを使用し，確実に固定してください。
- 足元に注意し，車速は最低速で，上りは**［前進］**下りは**［後進］**で行ない，途中で主クラッチを切ったり，変速操作をしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
- 車などで運搬するときは，必ず荷台に天井がない車を使用してください。
- 燃料コックレバーを必ず**［閉］**にし，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。燃料もれが発生し，火災や爆発のおそれがあります。
- 機体の固定は前部プロテクター，抵抗棒，ハンドルの３箇所を使ってロープ掛けを行ない，確実に床に固定してください。



1AFACAAAP032A



1AFACAAAP033A

■ 耕うん作業するとき

1AFACAAAP029A

- 爪軸（ロータリ）作業開始時や作業中，機体が思わぬ方向に飛出し転倒や人身事故のおそれがありますので，いつでも主クラッチが**［切］**れる姿勢で運転してください。
- 作業前に，ほ場の状態をよく確認して，石・材木・針金・空カン・空ビン等を取除いてください。
- エンジン本体，マフラ周辺，配線部にワラくずがたまっていると危険です。作業前・作業後に点検し，きれいに取除いてください。
- 周辺の枯れ草やたい積ワラ等に機械のマフラが接触すると危険です。作業前に取除くか，移動させてください。
- ほ場の中や周囲にある支柱，樹木や段差などは，作業前に位置を確認し，後進時にはさまれたり，転倒・転落しないよう安全な距離を保って，近づかないよう作業してください。
- ハウスや小屋の中，果樹園等障害物がある場所では，周囲をよく確認しながら作業してください。特に後退，旋回する時は，エンジン回転を下げ，ハンドルをしっかり押えて行なってください。
- 長いワラ・草など作業に支障のあるものは，作業前に取除いてください。機体が思わぬ方向に飛出し，転倒などのおそれがあります。

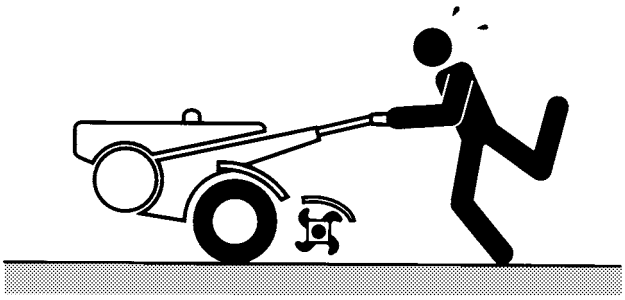
■ 回転している爪に注意

- ハンドル部を持上げ旋回するとき，足元及び周囲に十分注意しないと回転する爪に巻込まれるおそれがあります。

1AFACAAAP034A

■ ほ場が硬いとき

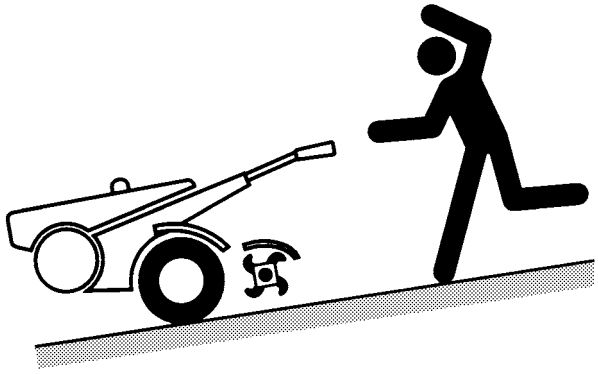
- 硬いほ場では車速を遅めにして，耕深も浅めで作業を行なってください。機体が飛出すおそれがあります。



1AFACAAAP028A

■ 機械から離れるとき

- エンジンは必ず停止させ，平坦で安定した場所に停車してください。移動・落下するおそれがあります。
  （やむなく傾斜地に止めるときは車止めをしてください。）
- 周囲に草・ワラなど燃えやすいものがある場所に止めないでください。火災のおそれがあります。



1AFACAAAP031A

■ ハンドル回動するとき

＊ 後進ケンセイレバーの切替え

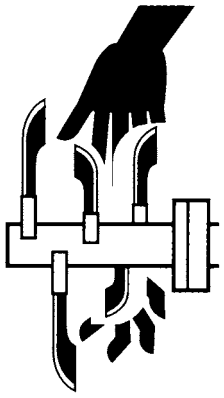
高速で後進すると機体が運転者に衝突し危険なため，ハンドル位置を逆転したときは必ず後進ケンセイレバーの位置を切替えてください。
ハンドル位置を正位置に戻したときは，後進ケンセイレバーの位置も元に戻してください。

1AFADAAAP029A

作業が終わったとき

■ 掃除をするとき

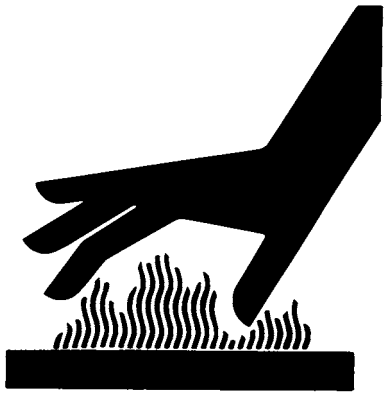
- 車軸・爪軸（ロータリ）等に巻付いた草・ワラ・泥土等を取除くときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。



1AFACAAAP036A

点検，整備をするとき

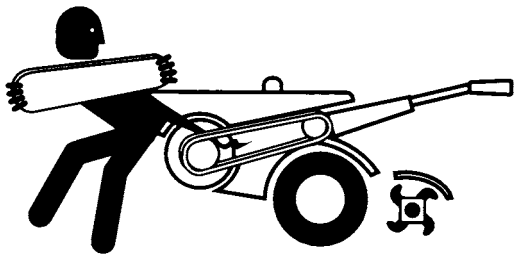
- 点検，整備，アタッチメントの脱着などは，機械が転倒しない平坦な所に機械を安定させて，エンジンを止め，高温部が冷めてから行なってください。



1AFACAAAP039A

■ カバー類は必ずつける

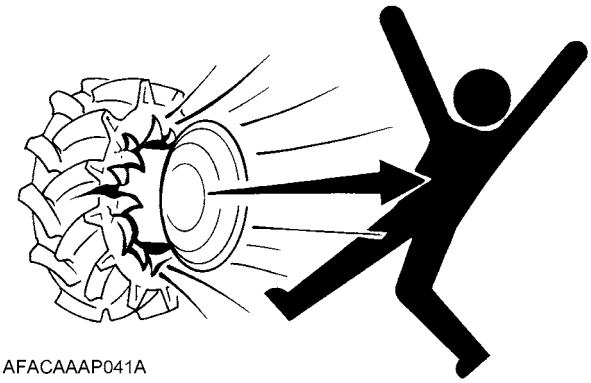
- ベルトカバー，PTO 軸カバーなどの防護カバーを取外すときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。
- 取外したカバー類は元通り組付けてください。



1AFACAAAP037A

■ タイヤの整備

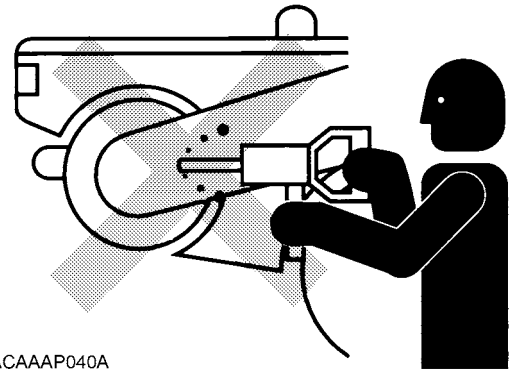
- タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
- タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
- タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
  （特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）



1AFACAAAP041A

■ 機械の改造禁止

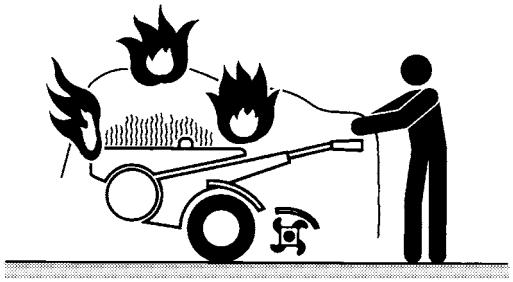
- 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。



1AFACAAAP040A

■ 格納するとき

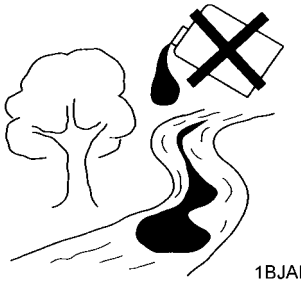
- 機体に保管用カバーをかけるときは，火災予防のため高温部が冷めてから行なってください。
- 火災防止のため，草・ワラ等可燃物のあるところでの保管はしないでください。



1AFACAAAP076A

■ 廃棄物の処理について

- 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
- 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
- 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
- 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。


1BJABAAAP0180

■ 夜間作業の禁止について

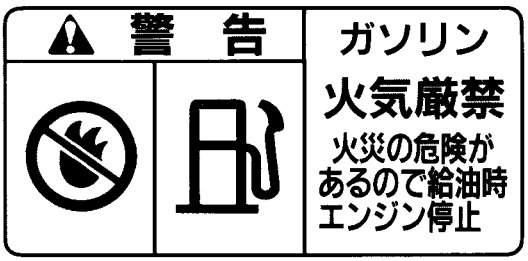
- 本機は夜間作業灯を装備していませんので，夜間作業はしないでください。思わぬ事故になるおそれがあります。

表示ラベルと貼付け位置

(1) 品番　KK221-4749-1

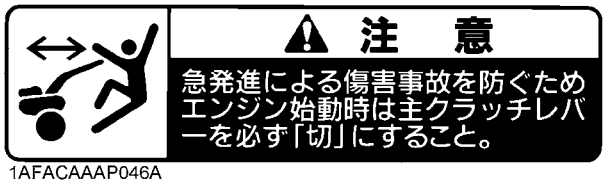
1AFACAAAP053A

(2) 品番　KE010-1114-1



1AFACAAAP054A

(3) 品番　60932-4823-1

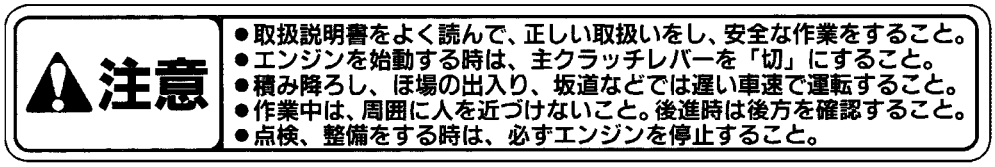


1AFACAAAP046A

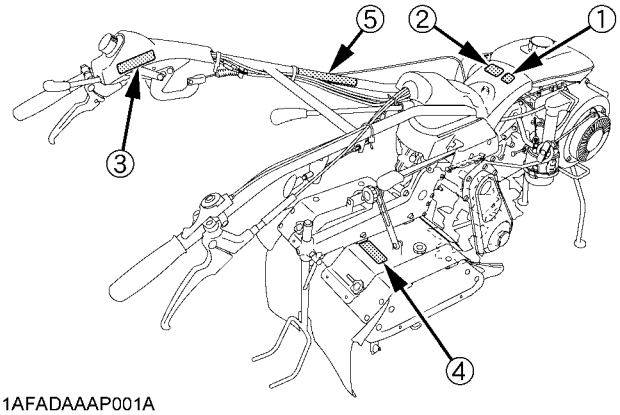
(4) 品番　60802-4828-1

1AFADAAAP031A

(5) 品番　62451-2812-1



1AFADAAAP034A

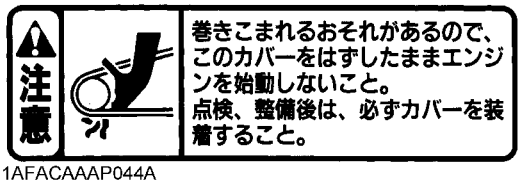


1AFADAAAP001A

(1) 品番　60932-4825-1

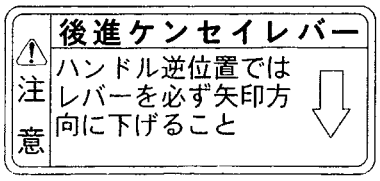
1AFACAAAP043A

(2) 品番　62451-2811-1

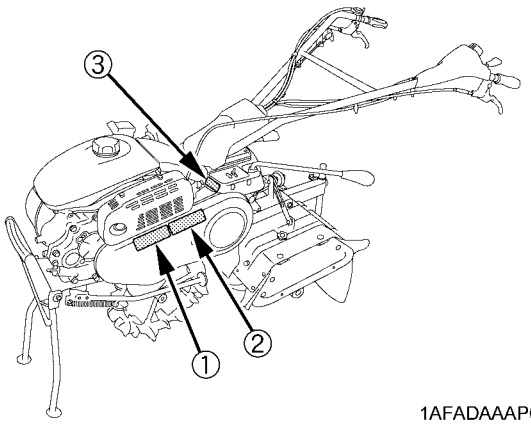


1AFACAAAP044A

(3) 品番　KE010-1124-1



1AFADAAAP032A



1AFADAAAP002A

表示ラベルの手入れ

- ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
  もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
- 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますので，ご使用前によくご覧ください。

■ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ**［ご相談窓口］**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際　(1) 型式名と車台番号
　　(2) エンジン番号
をあわせてご連絡ください。
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

警　告

＊ 機械の改造は危険ですので，改造しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

重　要

＊ エンジンで封印されているところは，さわらないでください。(封印が外されたと認められる場合は，保証の対象外になるのでご注意ください。)

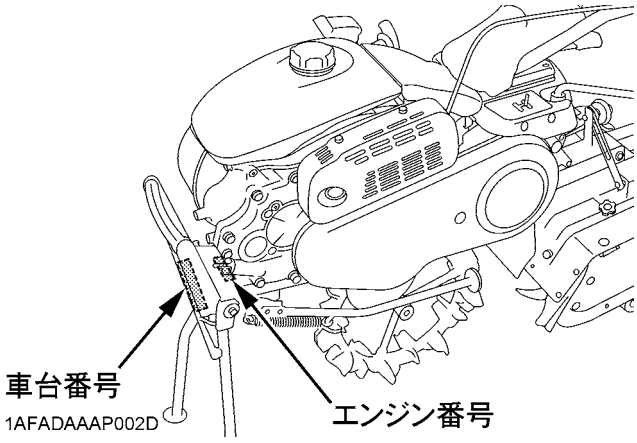
◆ 認定番号

安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は，下記の型式名及び番号をご使用ください。

農機型式名	安全鑑定番号
クボタ TS550	30053
クボタ TS550W	30054
クボタ TS750	30055
クボタ TS750W	30056
クボタ PC750	30070

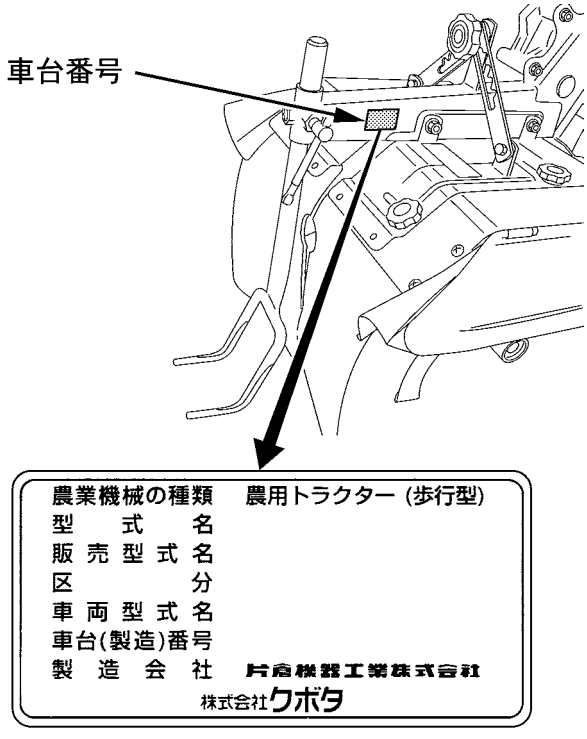
■ 補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後９年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。



1AFADAAAP002D

TS750WSB1M のみ



1AFADAAAP005A

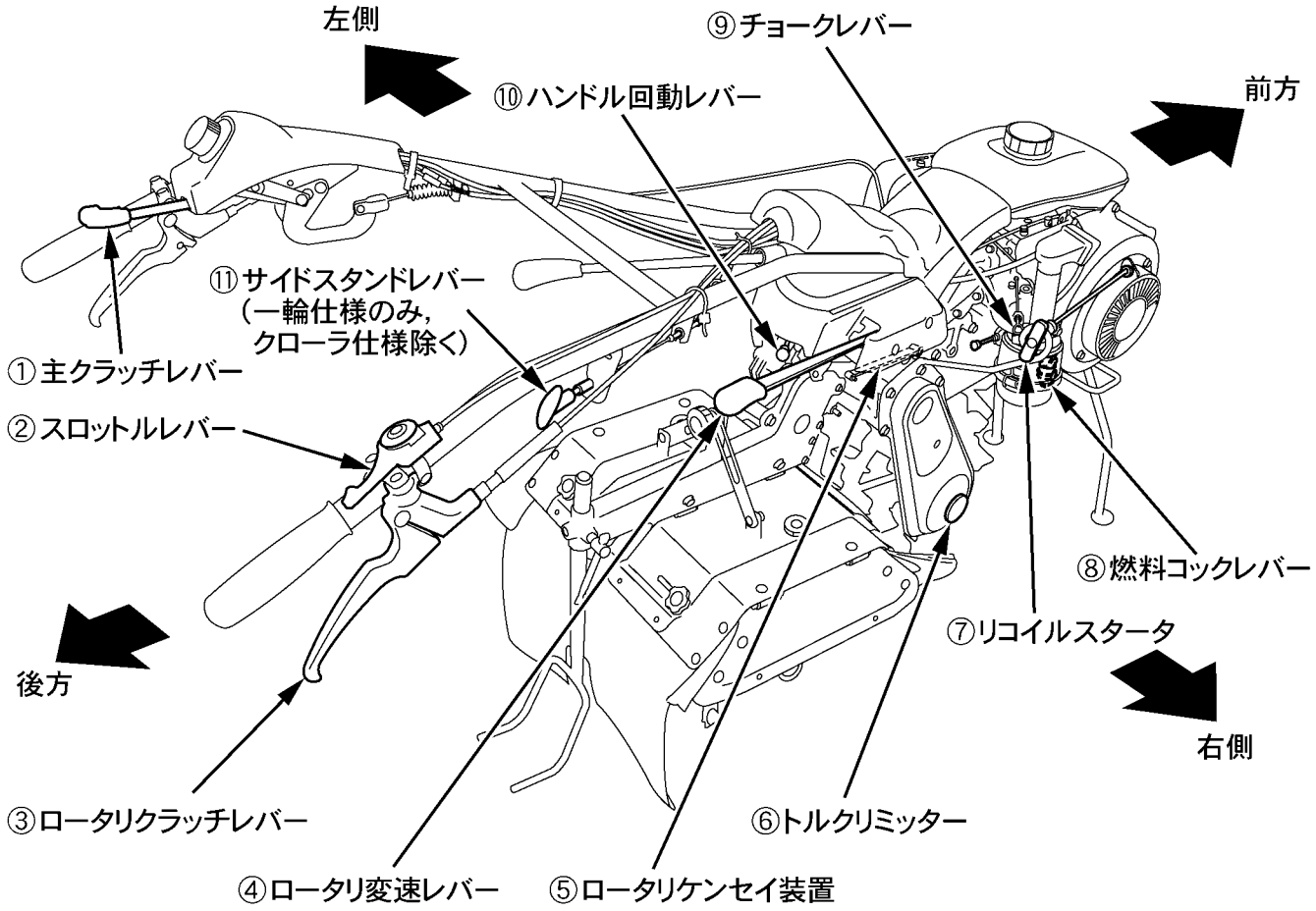
注　意

＊ トレーラ走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けておりません。
一般公道を走行すると，道路運送車両法に違反します。
一般公道を移動するときは，自動車（トラック）に積んで運搬してください。

各部の名称と装置の取扱い

機体方向説明と装置の名称

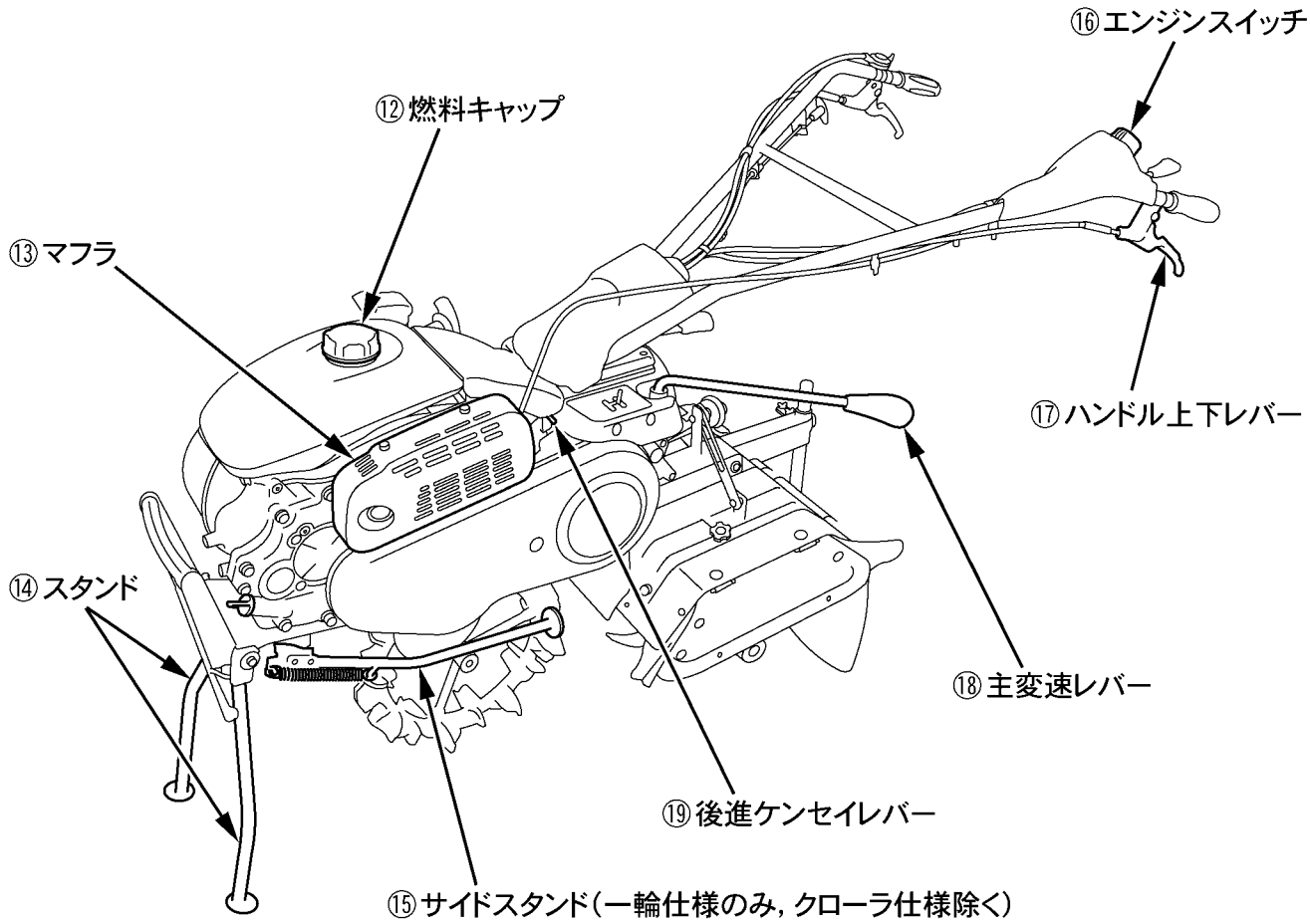
- 各装置は仕様により異なる部分がございます。お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようにお願いいたします。



1AFADAAAP001G

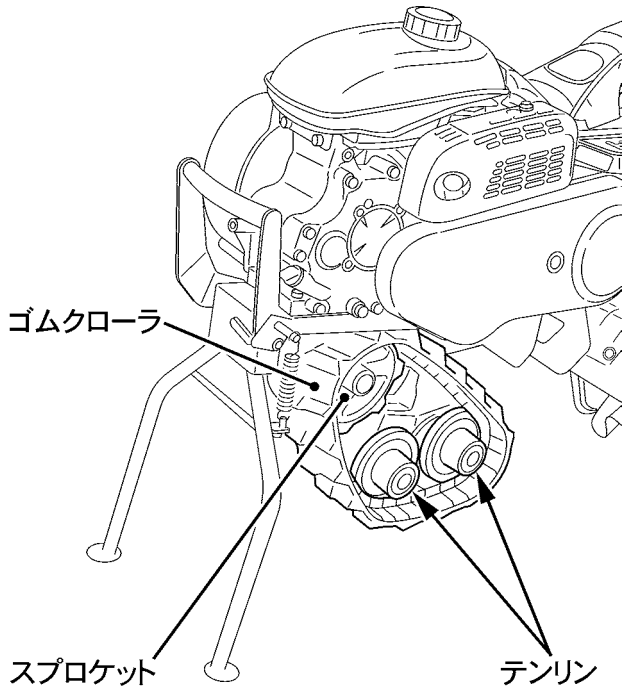
参照ページ

(1) 主クラッチレバー····· 4
(2) スロットルレバー····· 8
(3) ロータリクラッチレバー····· 4
(4) ロータリ変速レバー····· 5
(5) ロータリケンセイ装置····· 6
(6) トルクリミッター····· 9
(7) リコイルスタータ····· 7
(8) 燃料コックレバー····· 7
(9) チョークレバー····· 7
(10) ハンドル回動レバー····· 6
(11) サイドスタンドレバー
（一輪仕様のみ，クローラ仕様除く）·· 9
(12) 燃料キャップ····· 8
(13) マフラ····· 8
(14) スタンド····· 8
(15) サイドスタンド
（一輪仕様のみ，クローラ仕様除く）·· 9
(16) エンジンスイッチ····· 7
(17) ハンドル上下レバー····· 5
(18) 主変速レバー····· 4
(19) 後進ケンセイレバー····· 6



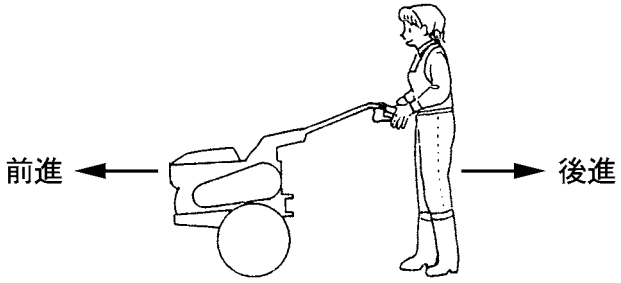
1AFADAAAP008B

クローラ仕様



1AFADAAAP059A

ハンドル正



1AFADAAAP009A

ハンドル逆

1AFADAAAP010A

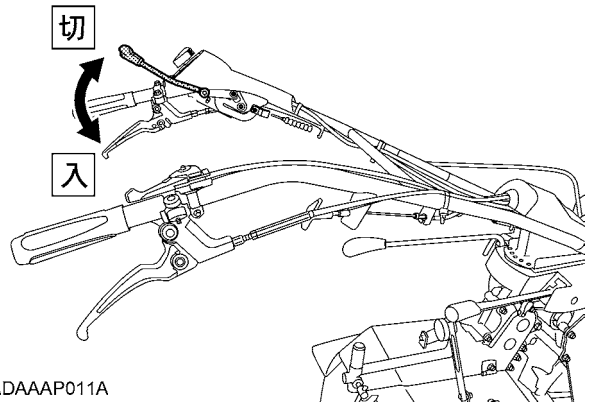
各部の名称とはたらき

■主クラッチレバー

注　意

＊ 傾斜地や後進するときなどは，ハンドルが持ち上がり危険な場合がありますので，主クラッチレバーをゆっくり操作して下さい。
＊ 狭い場所や後進の運転についてはエンジンの回転を低速にし，後方や上方などまわりの安全を確かめ，ゆっくりと主クラッチレバー操作してください。

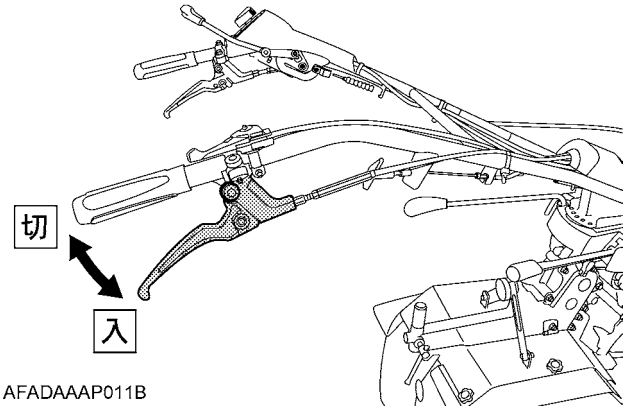
エンジンからの動力を断続します。
1. レバーを押し下げるとクラッチが**【入】**になります。
2. レバーを押し上げるとクラッチが**【切】**になります。



1AFADAAAP011A

■ロータリクラッチレバー

ロータリに伝わる動力を断続します。
1. レバーを握るとロータリが**【切】**になります。
2. レバーを離すとロータリが**【入】**になります。



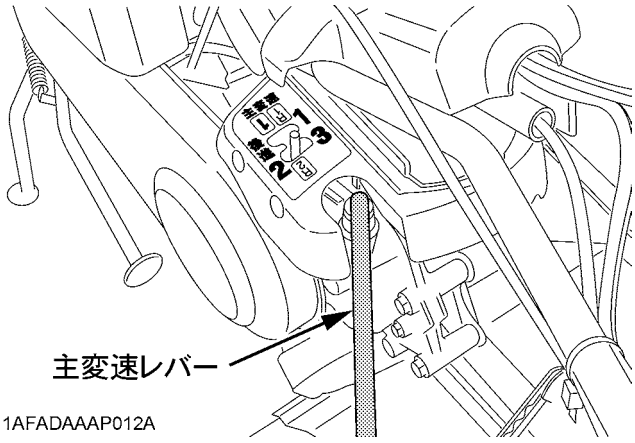
1AFADAAAP011B

■主変速レバー

注　意

＊ エンジンを始動する前に，必ずレバーを［中立］にしてください。
＊ 変速操作は主クラッチを［切］ってから行なってください。
＊ 走行中は変速しないでください。

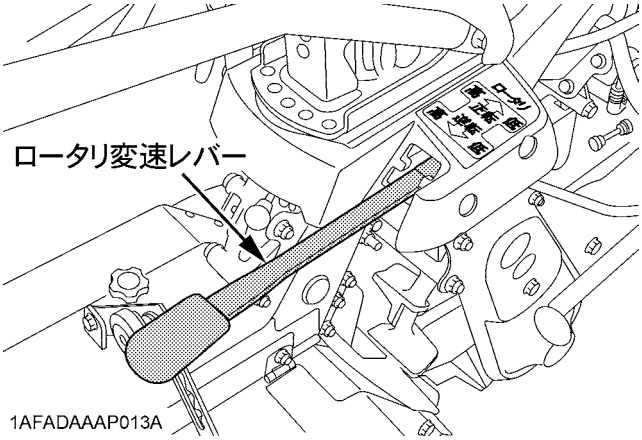
変速は案内板の表示位置に合わせてシフトします。
1. 変速は前進３段，後進１段です。
（ハンドル正位置時）
2. レバーの根元を持ち上げると回動できます。



1AFADAAAP012A

■ロータリ変速レバー

正転の低速・高速，逆転の低速・高速の変速ができます。



次表を参考にして変速位置に確実に入れます。

ハンドルの向	車速		ロータリ回転	ロータリ正・逆	適応作業
ハンドル正位置	前進	1	低	正	中耕，除草，培土
				逆	土寄，畝くずし
			高	正	
				逆	溝堀，土入
		2	低	正	中耕，除草，培土
				逆	
			高	正	
				逆	
		3	N		移動
	後進	1	N	注） 1．後進する場合はロータリ爪は止まります。 2．後進はスロットルレバーを低にしてください。	
ハンドル逆位置	前進	1	低	正	土寄，除草
				逆	
			高	正	土寄，除草， 土入，溝堀
				逆	
	後進	1	N	注） 1．後進はスロットルレバーを低にしてください。	
		2			

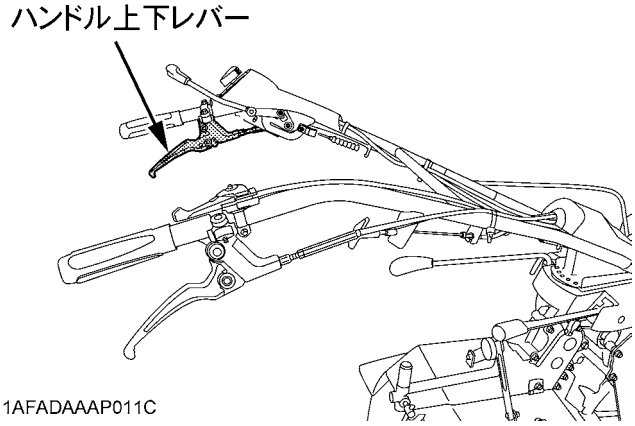
■ハンドル上下レバー

注　意

＊ スタンドを立て，安定させてから行なってください。

ハンドルの高さは４段の調節ができます。
ハンドル逆転時は３段の調節ができます。

1. ハンドル上下レバーを握るとハンドルが上下に自由に動きます。
2. ハンドル上下レバーを離すと固定されます。この時ハンドルが固定されていることを確認してください。



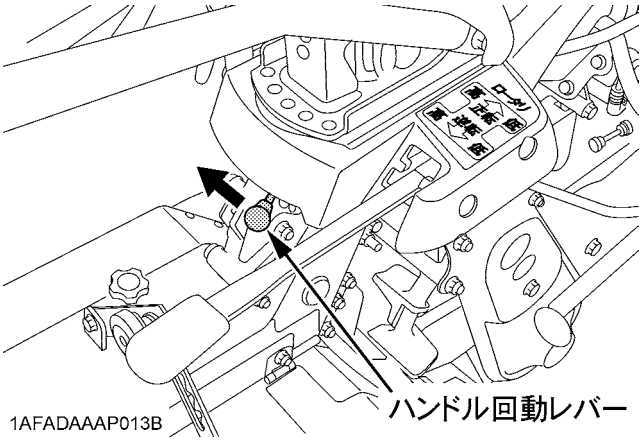
重　要

＊ ハンドル逆転時，最下段は使用しないでください。

■ハンドル回動レバー

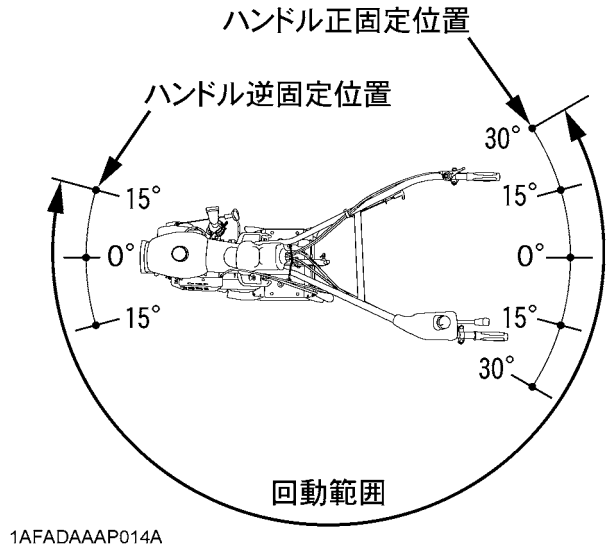
注　意

＊ スタンドを立て，安定させてから行なってください。



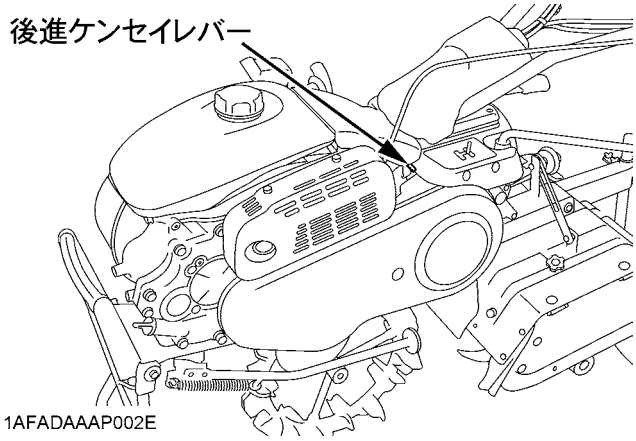
ハンドル正位置５段，ハンドル逆位置３段の調節ができます。（固定位置は下図の８個所です）

1. ハンドル回動レバーを矢印の向きに止まるまで操作してください。
2. ハンドルを使いやすい位置まで回動してください。
3. 回動レバーを戻し固定してください。



■後進ケンセイレバー

1. ハンドルを逆位置にしたときは必ず銘板の矢印の向きに後進ケンセイレバーを降ろしてください。
2. ハンドルを正位置に戻したときは，後進ケンセイレバーの位置も，元に戻してください。

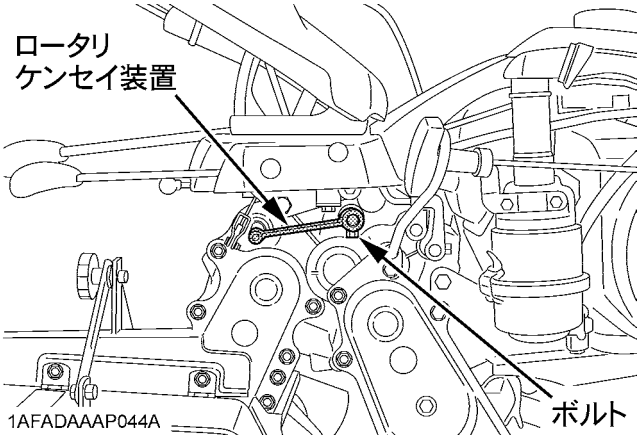


■ロータリケンセイ装置

警　告

＊ ハンドル正位置での作業時には必ず「ロータリケンセイ装置」を取付けてください。

ハンドルを逆転させた位置での前進作業はロータリケンセイ装置を外して行なってください。

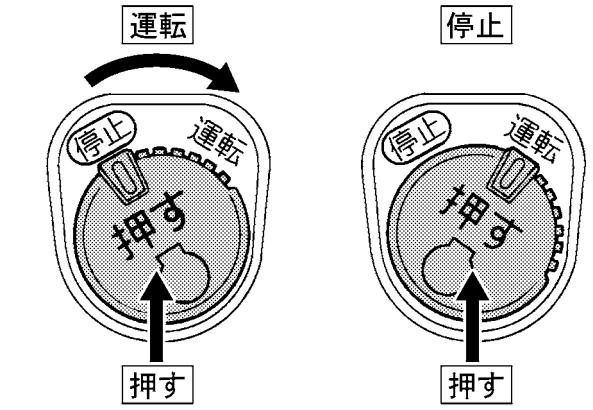


ボルトをゆるめ，ロータリケンセイ装置を抜いてください。

■エンジンスイッチ

エンジンの始動・停止に用います。

1. スイッチを押しながら**【運転】**位置にまわすと始動が可能です。
2. スイッチを押すと左にまわって**【停止】**位置に戻り，エンジンが停止します。

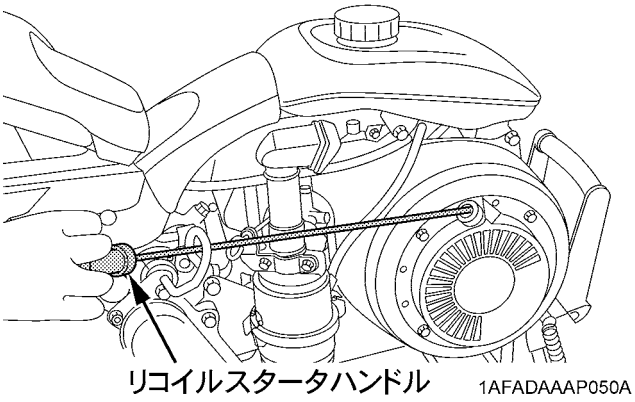


■リコイルスタータ

注　意

＊ リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。

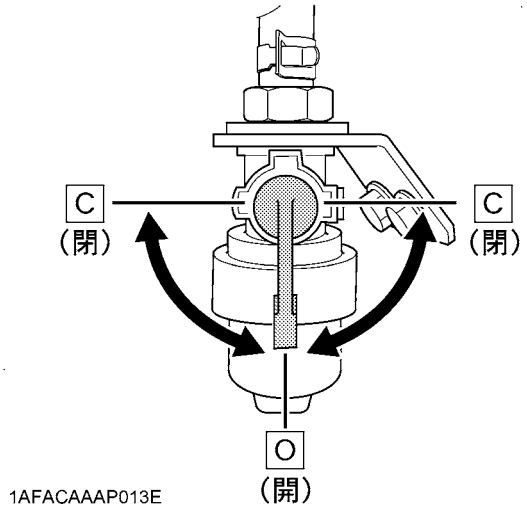
エンジンの始動をします。
主クラッチレバーを**【切】**にし，リコイルを引っ張ると始動します。



■燃料コックレバー

燃料タンクからエンジンへ燃料の**【供給】・【停止】**をします。エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めてください。

1. **【C】(閉)**　燃料停止
2. **【O】(開)**　燃料供給



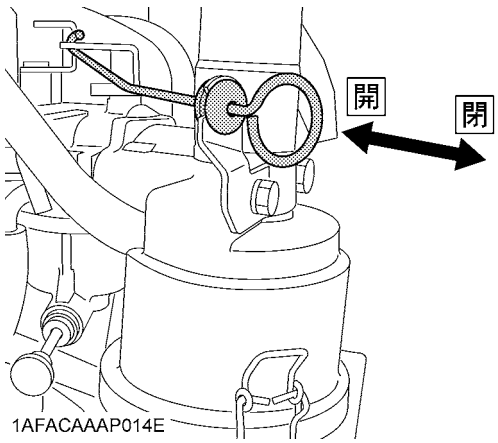
重　要

＊ コックを開いた状態で，前に倒したり車両で運搬すると，エンジン始動が困難になる場合があります。

■チョークレバー

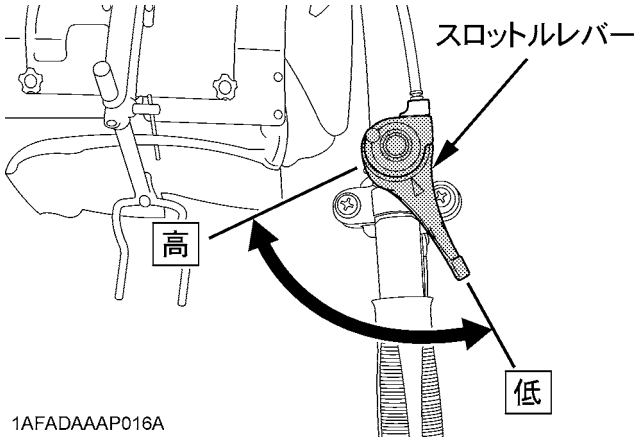
エンジンがかかりにくい時に使用します。

1. **始動時**　レバーを引く（チョーク**【閉】**）
2. **始動後**　レバーを押す（チョーク**【開】**）



■スロットルレバー

エンジン回転の調節をします。
1. **【高】**の方向に回すと回転が上がります。
2. **【低】**の方向に回すと回転が下がります。



■燃料キャップ

警　告

- **＊ 給油時はエンジンを停止し冷却を確認してください。**
- **＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。**
- **＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。**
- **＊ 燃料は規定量（赤色ゲージ）以上入れないでください。**
- **＊ 給油後，燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。**
- **＊ 上記の作業をおこたると，爆発・火災のおそれがあります。**

自動車用レギュラーガソリンを使用してください。

燃料の種類	規定容量
自動車用レギュラーガソリン	1.5L

重　要

＊ 燃料タンク内にゴミや水及びその他異物が混入しないように，注意してください。

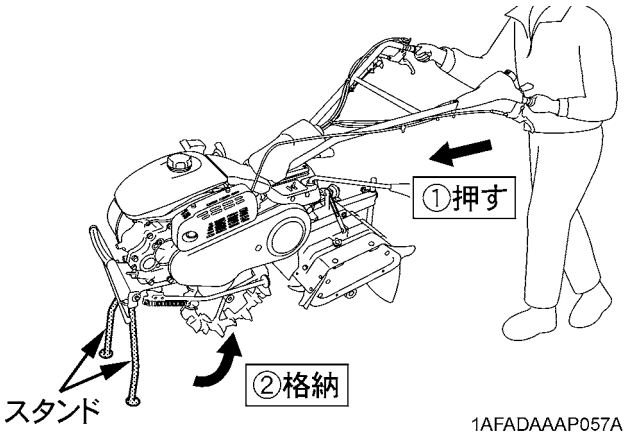
■マフラ

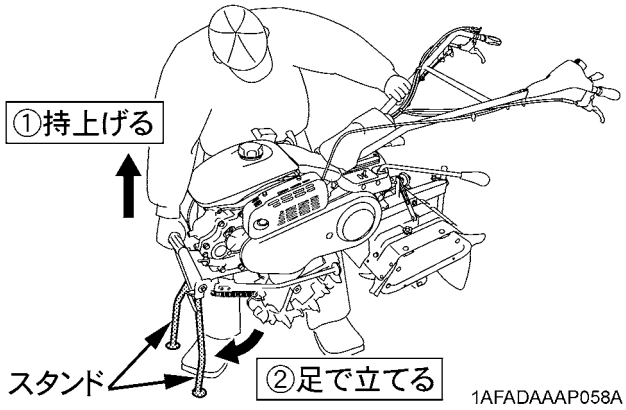
注　意

＊ マフラに手でふれないでください。
ヤケドをするおそれがあります。

■スタンド

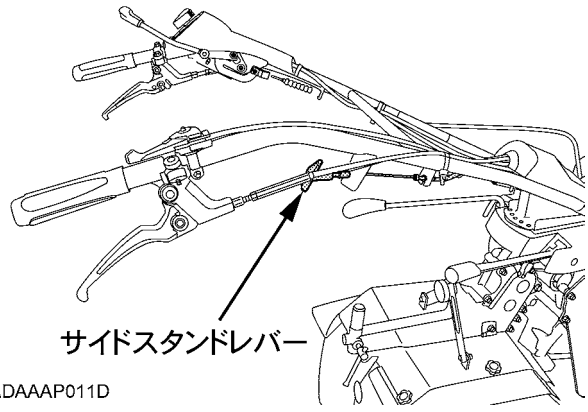
ハンドルを前方に押し，スタンドを格納します。
立てる時はバンパーを持上げながら足でスタンドを立てます。





■サイドスタンドレバー（1 輪仕様のみ，クローラ仕様除く）

手元でサイドスタンドを降ろすことができます。（手前に引いて固定すればサイドスタンドは持ち上ります。）



1AFADAAAP011D

■トルクリミッター

走行部に石などがかんで使用範囲以上の力が加わった時, ミッションが破損しないように走行部が止まります。

作業前の点検

注 意

＊ 平坦な場所にスタンドを立て，機械を安定させて点検してください。
＊ 点検中はエンジンを停止してください。

調子よく作業するために

（詳細は 22 ページの「管理機の簡単な手入れと処置」を参照）

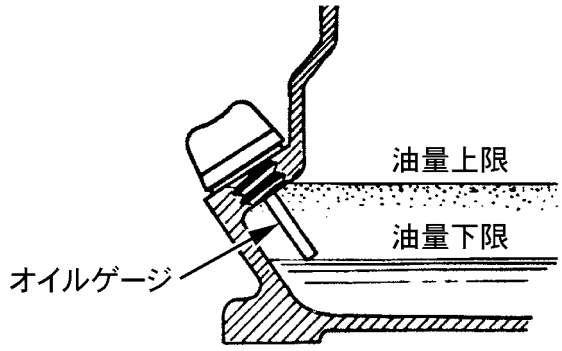
警 告

＊ 給油時はエンジンを停止し冷却を確認してください。
＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。
＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。
＊ 燃料は規定量（赤色ゲージ）以上入れないでください。
＊ 給油後，燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。
＊ 上記の作業をおこたると，爆発・火災のおそれがあります。

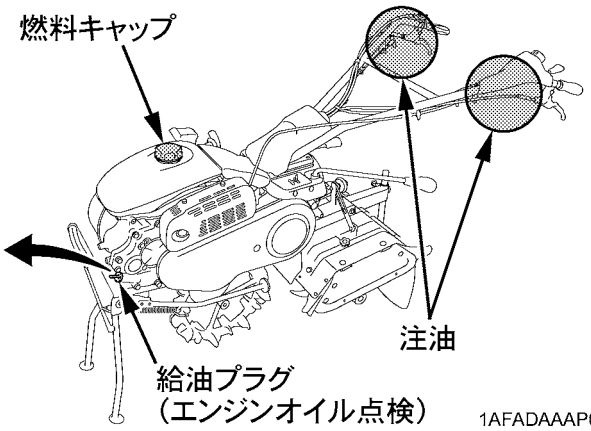
◆ 燃料
- スタンドを立てた状態で燃料を入れてください。
- 自動車用レギュラーガソリンを補給してください。
- タンク容量……約 1.5L（赤色ゲージ以下にしてください。）

◆ エンジンオイル
- スタンドを立てて，エンジンを水平にして，オイルゲージで規定量あるか点検してください。
- 不足している場合は，クボタ純オイルを補充してください。
（ガソリンエンジン用）
スーパー G 10W-30

◆ 各ケーブル
- ケーブルの端より，エンジンオイルを注油してください。



1AFACAAAP064A



1AFADAAAP002B

◆ ミッションオイル

- スタンドを立てた状態で検油プラグ位置まであるか点検してください。
- 不足している場合は，クボタ純オイルを補充してください。
  (NEW・UDT，スーパー UDT 又はスーパー UDT-2)

◆ エアクリーナ

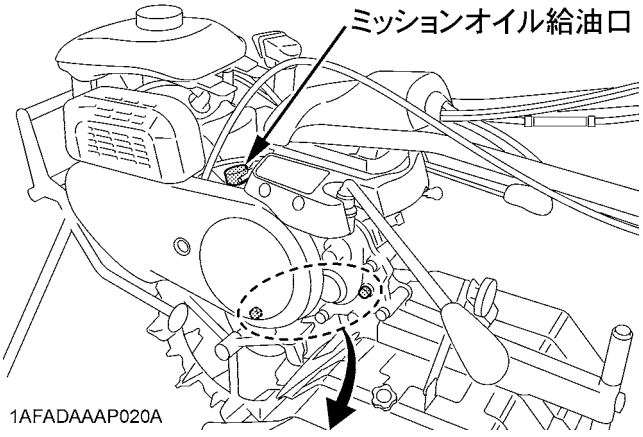
- オイルパンの規定線（**OIL LEVEL**）まであるか点検してください。
- 不足している場合は，エンジンオイルを補充してください。
- オイルパンのオイルが汚れていないか点検してください。
- エアクリーナエレメントにゴミが付着していないか点検してください。

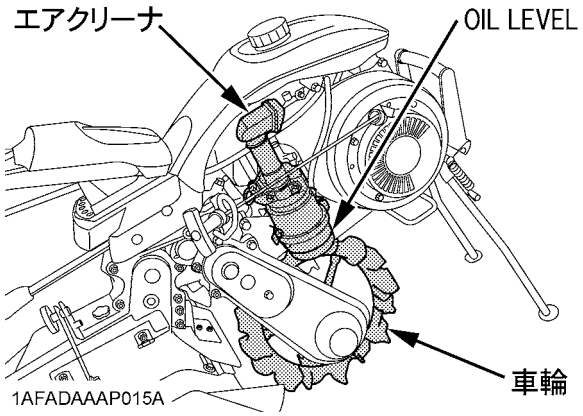
◆ 車輪
ゴムクローラ

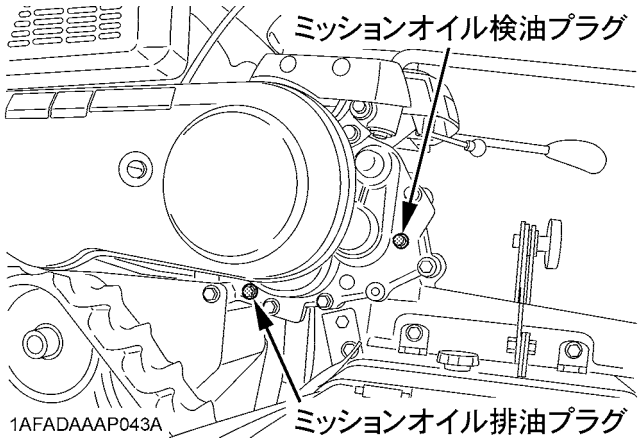
- 損傷がないか点検します。

◆ その他

- エンジン，ミッションなどから油もれがないか点検してください。
- 各しゅう動部へエンジンオイルを注油してください。
- 各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検してください。







重　要

＊ 水やごみを混入しないようにしてください。

作業前の点検

安全に作業するために

警 告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

◆ 主クラッチレバー
ロータリクラッチレバー
- クラッチの**［入］・［切］**が確実に行なえるか点検してください。
- 不良の場合は調整・注油してください。

◆ 主変速レバー
ロータリ変速レバー
- 変速が案内板の表示位置で確実に行なえるか点検してください。

◆ 後進ケンセイレバー
- 後進ケンセイレバーの状態を確認してください。

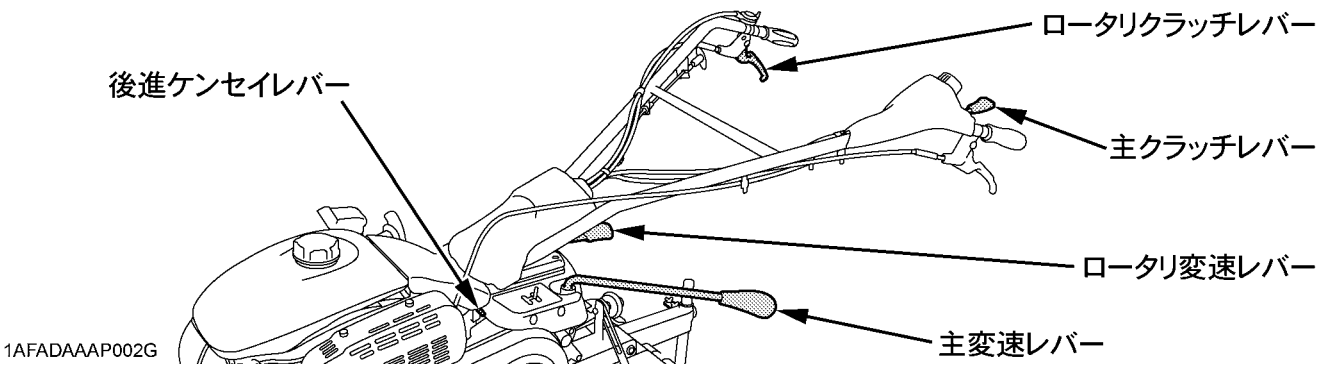
◆ 電気配線
- 被覆が溶けたり被れていないか，また配線がはさまれていないか点検してください。

◆ エンジン周辺部
- ファンカバーやマフラカバー内にゴミやワラクズの付着がないか点検してください。

◆ ガソリンもれ
- タンクや燃料パイプからガソリンもれがないか点検してください。もれがある場合は，修理点検してください。
- 自動車用レギュラーガソリンを補給してください。
- タンク容量……規定量（赤ゲージ位置）以上入れないようにしてください。
- 給油後，ガソリンがもれないよう確実に燃料キャップを締めてください。

◆ 車輪
- 空気が抜けていないか，又，損傷がないか点検してください。
- タイヤ仕様の場合，適正空気圧…… 120kPa（1.2kgf/cm²）
  ［TS750WSB1M のみ
  140kPa（1.4kgf/cm²）］

◆ ゴムクローラ
（PC750 のみ）
- 張りが弱くないか，又，損傷がないか点検してください。



運転のしかた

新車時の扱いかた

■ならし運転（最初の 10 時間まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ無理をさせないようにしてください。

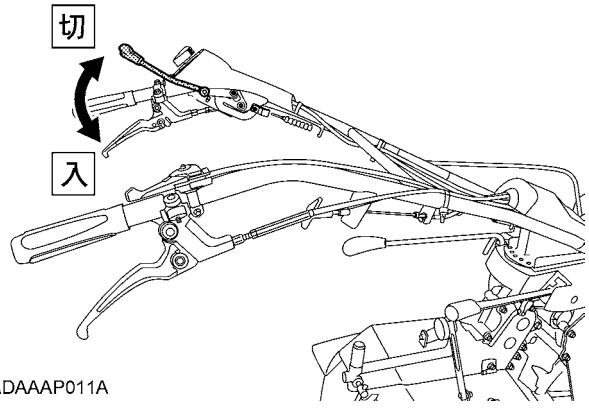
エンジンの始動と停止のしかた

■始動のしかた

注 意

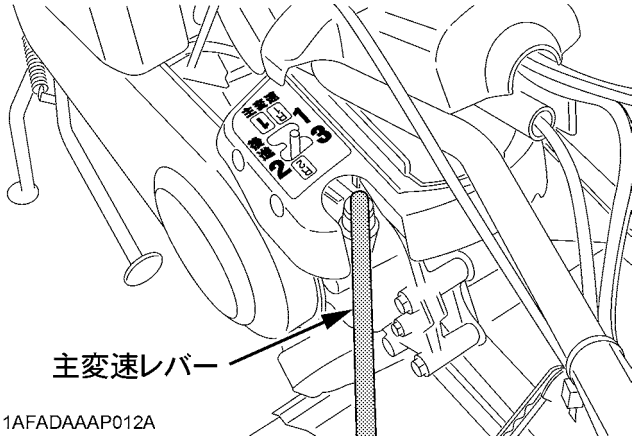
＊ マフラの排気出口方向に，燃えやすい物がないか確認してください。火災のおそれがあります。
＊ リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。
＊ エンジンの運転中は，危険ですからマフラやそのほか操作レバー以外の物には，触れないでください。ヤケドや傷害のおそれがあります。
＊ 夜間作業はしないでください。
＊ エンジンを始動するときは，主クラッチレバーを必ず［切］にしてください。

1. 主クラッチレバーを**［切］**にしてください。



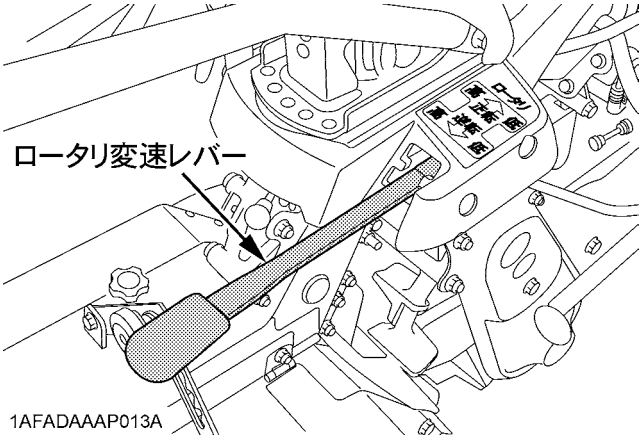
1AFADAAAP011A

2. 主変速レバーを**［中立］**にしてください。



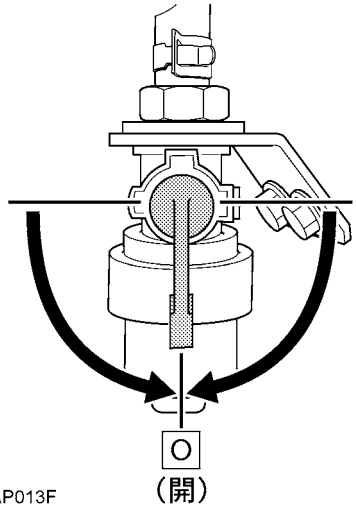
1AFADAAAP012A

3. ロータリ変速レバーを**［中立］**にしてください。



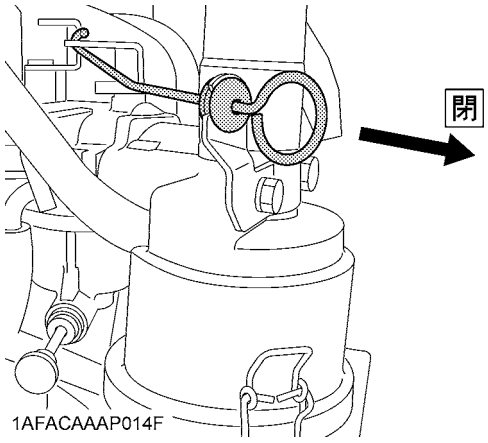
1AFADAAAP013A

4. 燃料コックを**［O］（開）**にしてください。

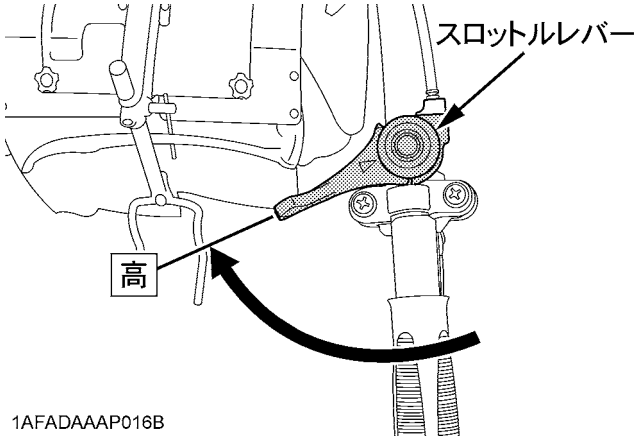


1AFACAAAP013F

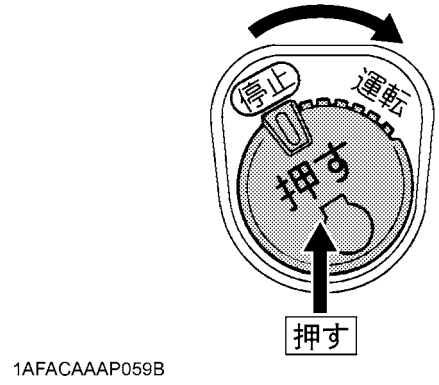
5. チョークレバーを引き**【閉】**にしてください。



6. スロットルレバーを**【高】**にしてください。



7. エンジンスイッチを押しながら**【運転】**位置までまわしてください。



8. リコイルスタータハンドルを握って，引っ張ってください。
   エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。
9. エンジンの運転状態を確認しながら，チョークレバーを徐々に**【開】**の位置に戻してください。
10. 2～3分暖機運転をしてから，作業を始めてください。

重　要

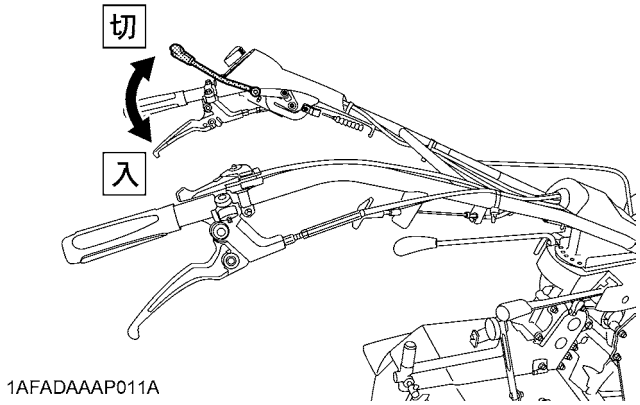
＊ 運転中はリコイルスタータを引かないでください。

■停止のしかた

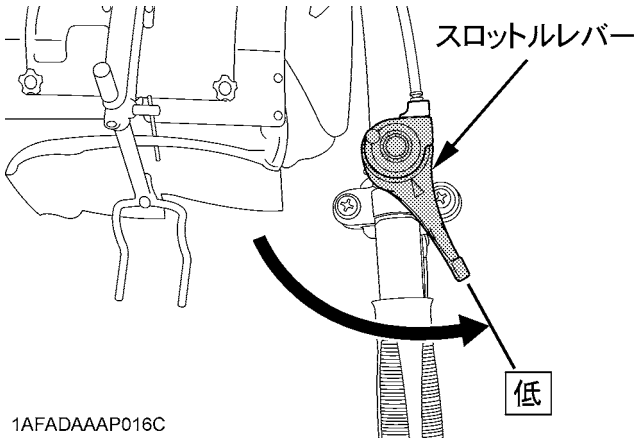
警　告

＊ 停止直後はしばらくマフラが熱くなっています。手を触れないでください。ヤケドのおそれがあります。

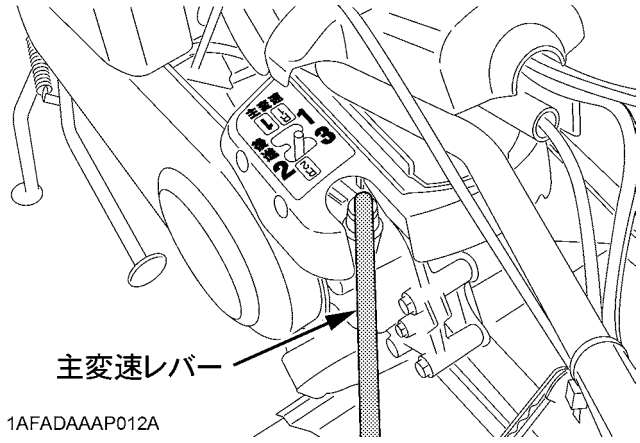
1. 主クラッチレバーを**【切】**にしてください。



2. スロットルレバーを**【低】**にしてください。

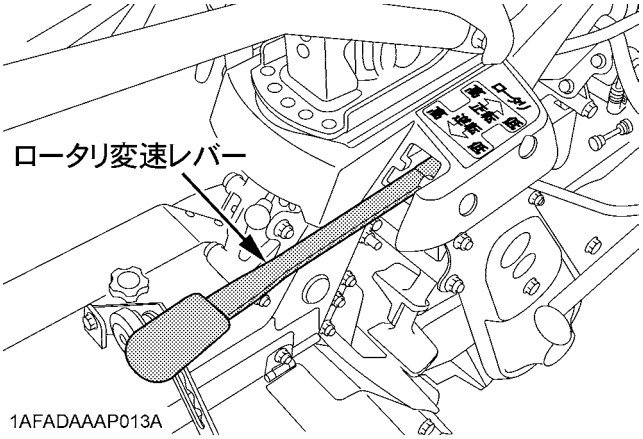


3. 主変速レバーを**【中立】**にしてください。



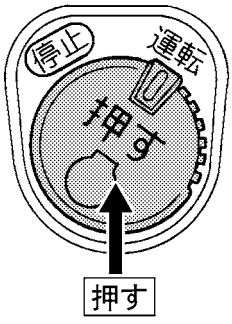
1AFADAAAP012A

4. ロータリ変速レバーを**【中立】**にしてください。



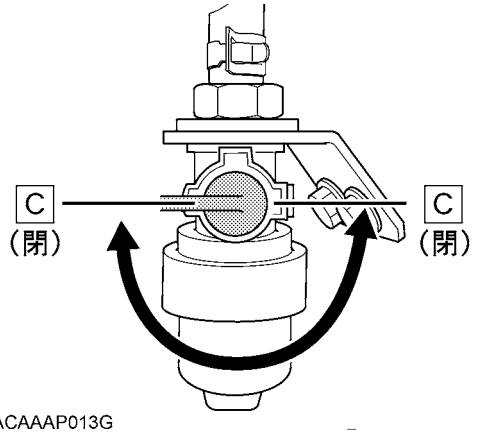
1AFADAAAP013A

5. エンジンスイッチを押すと左にまわって**【停止】**位置に戻り，エンジンが停止します。



1AFACAAAP059C

6. 燃料コックを**【C】（閉）**にしてください。



1AFACAAAP013G

重　要

＊ コックを開いたままの状態で保管したり，車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。
また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

発進のしかた

警 告

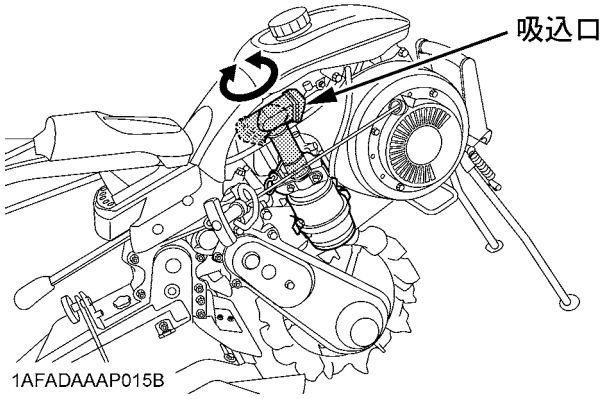
＊ 運転中は周囲に人を近づけないでください。傷害事故のおそれがあります。
＊ 傾斜地での運転や後進するときなどは，ハンドルが持ち上がり，体や首をはさまれるなどのおそれがありますので，主クラッチをゆっくり操作してください。
＊ 狭い場所での運転や後進の運転については，エンジンの回転を低速にし，後方や上方などまわりの安全を確かめゆっくりと主クラッチ操作をしてください。

1. スタンドとサイドスタンドを上げてください。
2. 主クラッチレバーが**【切】**の位置にあることを確認した後，主変速レバーを必要な変速位置にしてください。
3. 主クラッチレバーを**【入】**にして発進してください。
4. スロットルレバーを操作して速度を調整してください。

各部の調節

■エアクリーナの調節

エアクリーナの吸込口が回動します。作業に応じ，チリやホコリの少ない方に吸込口の向きを変えてください。



■ハンドル高さの調節

注 意

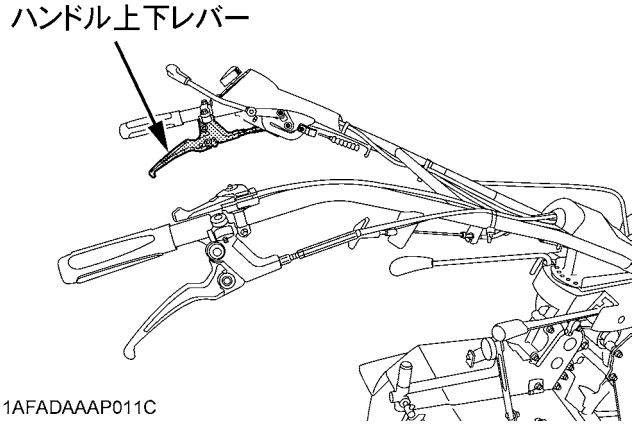
＊ スタンドを立て，安定させて行なってください。

ハンドルの高さは４段の調節ができます。
ハンドル逆転時は３段の調節ができます。

1. ハンドル上下レバーを握るとハンドルが上下に自由に動きます。
2. ハンドル上下レバーを離すと固定されます。この時ハンドルが固定されていることを確認してください。

重 要

＊ ハンドル逆転時，最下段は使用しないでください。

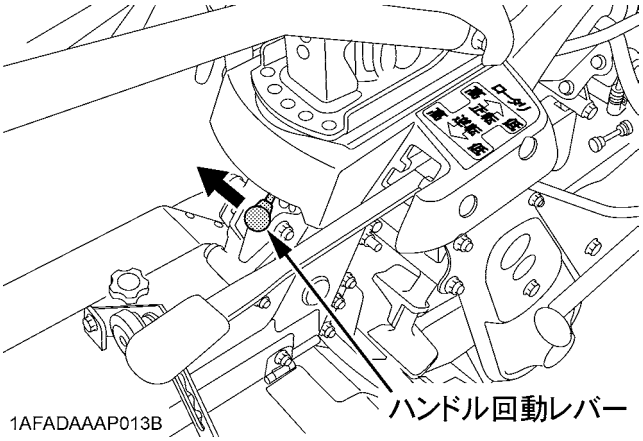


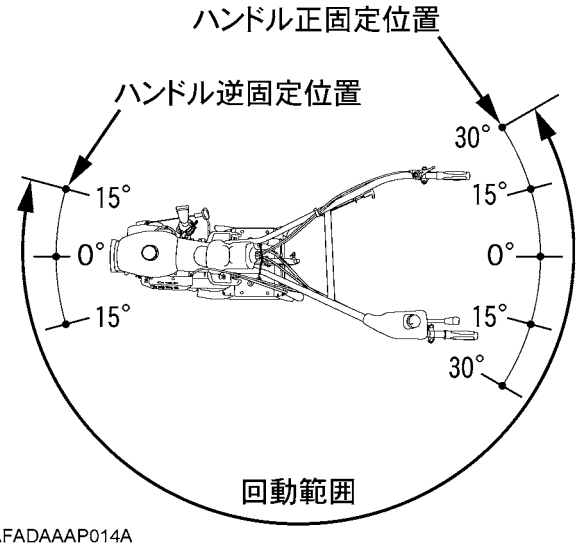
■ハンドルの回動

警　告

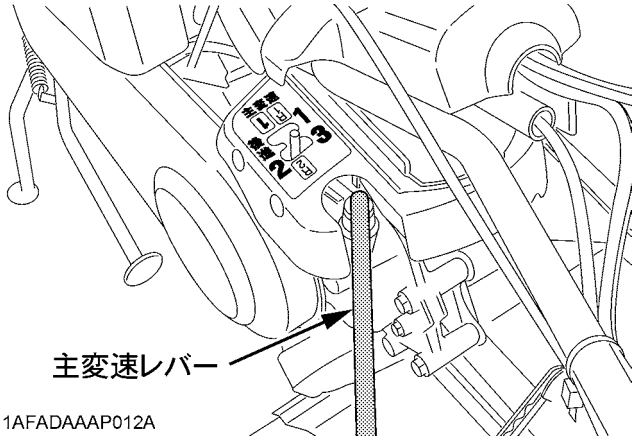
＊ 平坦な場所にスタンドを立て，安定させて行なってください。
＊ 各レバーが正常に動くか確認してください。
＊ ハンドルを逆位置にした時は必ず銘板の矢印の向きに後進ケンセイレバーをおろします。
＊ ハンドルを正位置に戻した時は，後進ケンセイレバーの位置も，元に戻してください。

1. ハンドル回動レバーを矢印の方向へ操作するとハンドルが正位置で５箇所，逆位置で３箇所の調節ができます。





2. 主変速レバーの根元を持上げて，変更したい位置へ回転させてセットしてください。



3. ハンドルを正位置から逆位置に，もしくは逆位置から正位置に調節した際は，必ず後進ケンセイレバーの切替えとロータリケンセイ装置の脱着を行なってください。
（**［各部の名称と装置の取扱い］**の**［後進ケンセイレバー］**と**［ロータリケンセイ装置］**の項を参照）

重　要

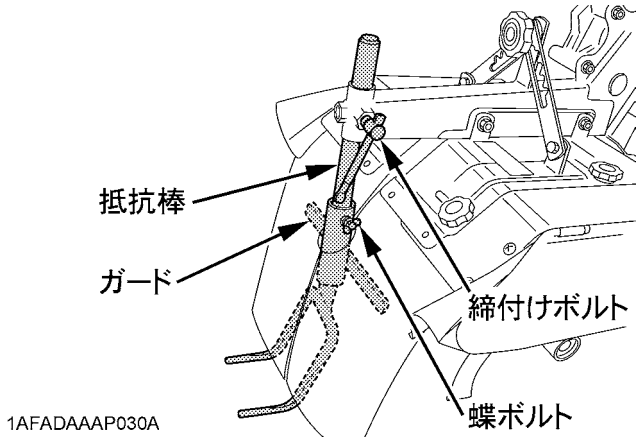
＊ 回動するとき，ケーブル類が引っかからないように，ゆっくり行なってください。
＊ ハンドルは時計方向に回動してください。逆に回動すると機械が破損することがあります。

■耕深調節のしかた

注　意

＊ 調節時は必ずエンジンを停止してください。傷害事故を引き起こすおそれがあります。
＊ ガードは作業時必ず取付けてください。

1. 機体のエンジン側を接地してください。
2. 締付けボルトをゆるめ，抵抗棒を上下し，耕深を調整してください。
3. 蝶ボルトをゆるめ，ガードを上下し，耕深に高さを合わせてください。



重　要

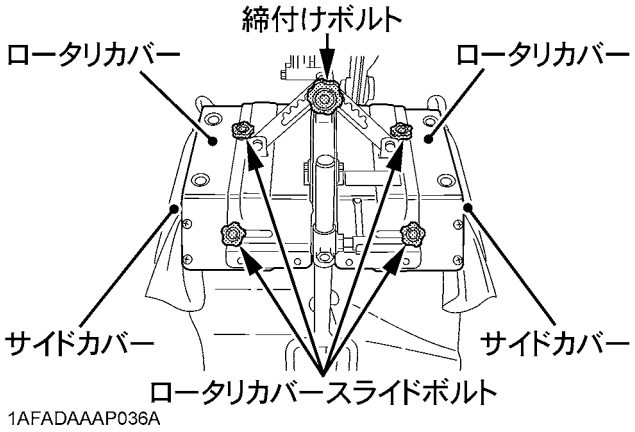
＊ 調節後，締付けボルト・蝶ボルトを確実に締付けてください。

■正転作業

注　意

＊ 爪軸・カバー調節時は，エンジンを必ず停止してください。

1. 爪軸を正転作業の向きに取付けてください。（「耕うん爪の取付けかた」を参照）
2. 締付けボルトをゆるめてロータリカバーを水平まで下げます。次に締付けボルトで十分に固定してください。
   耕うん幅に合わせてロータリカバースライドの締付けボルトをゆるめて，幅の調整をしてください。次に締付けボルトで十分に固定してください。
   サイドカバーは下まで下げてください。



3. ロータリ**［正転］**で作業を行なってください。

補　足

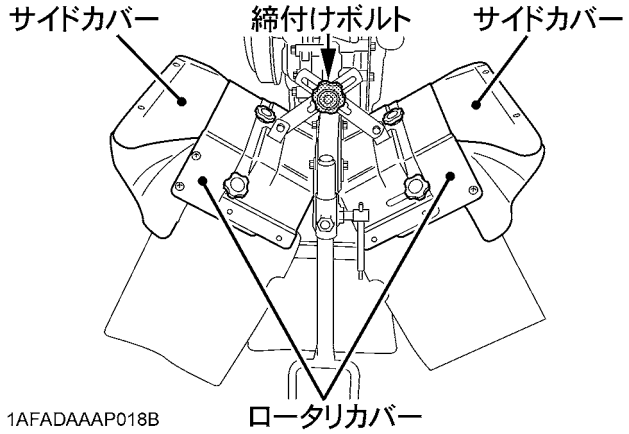
＊ 作業に合わせて適正な爪・爪軸を選定することでより良い作業ができます。

■逆転作業

注　意

＊ 爪軸・カバー調節時は，エンジンを必ず停止してください。

1. 爪軸を逆転作業の向きに取付けてください。(「耕うん爪の取付けかた」を参照)
2. 締付けボルトをゆるめてロータリカバーを用途に合わせて調節し，締付けボルトを十分に固定してください。
   サイドカバーも用途に合わせて調節してください。



3. ロータリは**【逆転】**で作業を行なってください。

補　足

＊ 作業に合わせて適正な爪・爪軸を選定することでより良い作業ができます。

■トルクリミッターが働いた場合

走行部が障害物により回転できない場合や，大きな力が加わった場合に機体保護のため内部でトルクリミッターが働き，走行部の回転が止まりますが故障ではありません。
次の要領に従って行なえば正常に戻ります。

1. すぐに主クラッチレバーを**【切】**にしてください。
2. エンジンを止めてください。
3. 車軸回りの障害物を取り除いてください。
4. エンジンを再始動させたのち，スロットルレバーを**【低速】**に戻してください。
5. 主クラッチレバーをゆっくり**【入】**れます。
6. 車軸が回転すれば正常です。

重　要

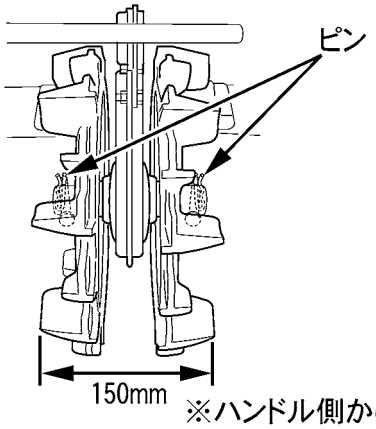
＊ 機体の内部でトルクリミッターが働いた場合，すぐに本機を止めてください。

■車輪幅の調節のしかた（２輪仕様のみ）

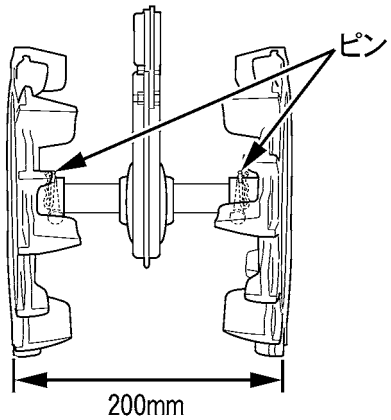
注　意

＊ 車輪幅の調節時は，エンジンを必ず停止してください。

作業にあわせて車輪幅を調節してください。ピンを外し，車輪の左右を入れ替えることで調節できます。



1AFADAAAP019A　※ハンドル側から見る



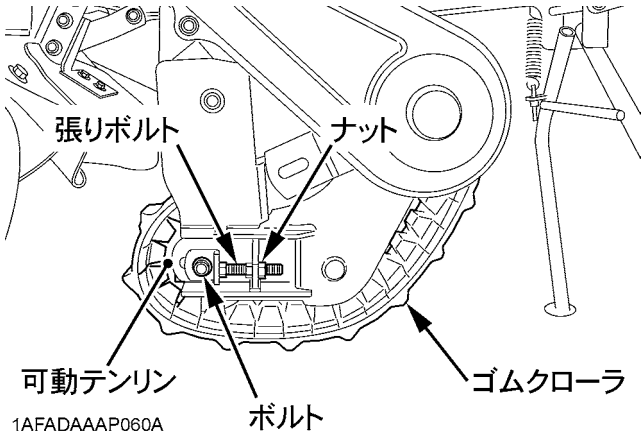
1AFADAAAP037A

※ TS750WSB1M は外幅 250mm です。

■ゴムクローラの調節（ゴムクローラ仕様のみ）

ゴムクローラがたるんだ状態では脱輪などを引き起こす場合がありますので，たるんでいる時には，ゴムクローラを張るようにします。

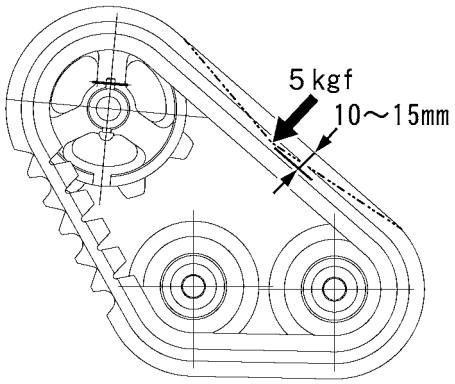
1. 可動テンリンを止めているボルトを軽くゆるめます。
2. ナットをゆるめて張りボルトをまわし，ゴムクローラを張ります。
3. ゆるめたボルトとナットを締付けます。



1AFADAAAP060A

◆ 適正張り強さ

下図，クローラの中間部を荷重約５ kgf で押します。たわみ量が 10㎜ ～ 15㎜ だと張り強さは適正です。



1AFADAAAP062A

◆ 脱輪したときの処置

作業中にゴムクローラの内部へ大きい石などが入り，脱輪した時にはいったん可動テンリンをはずし，ゴムクローラを張るようにします。

1. ナットをゆるめて張りボルトを右回り（時計方向）へまわし，可動テンリンがはずれるようにします。
2. 可動テンリンのボルトをゆるめて可動テンリンをはずし，脱輪を直したあとに可動テンリンを取付けます。

3. 張りボルトでゴムクローラを張り，ゆるめたナットを締付けます。

上手な作業のしかた

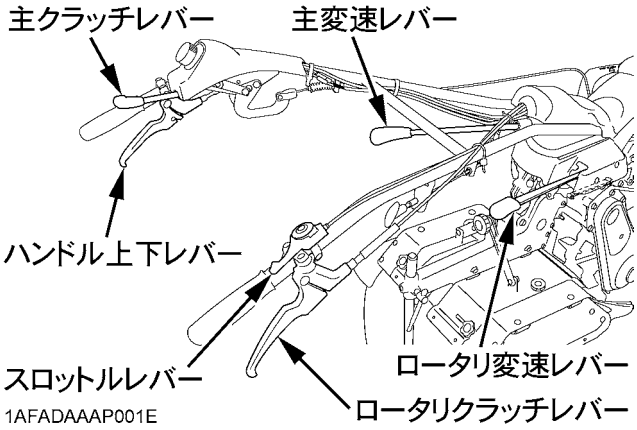
下記手順を守り，安全作業に心掛けてください。

■耕うん作業手順

1. 主クラッチレバーを押し上げ，**【切】**にしてください。
2. ハンドル上下レバーを握り，作業しやすい位置にハンドル高さを調節してください。
3. 主変速レバーとロータリ変速レバーを作業に応じた位置に入れてください。
   【ロータリ変速レバー】の項にある表を参考にしてください。
4. スロットルレバーを**【高速】**にしてください。
5. 主クラッチレバーをゆっくり下げ**【入】**にし，発進してください。

■旋回手順

1. 主クラッチレバーを押し上げ，**【切】**にしてください。
2. スロットルレバーを**【低速】**にしてください。
3. ロータリクラッチレバーを握り，ロータリ回転を止めてください。
4. ハンドル上下レバーを握り，ハンドル位置を下げてください。
5. ハンドルを持ち上げ，主クラッチレバーをゆっくり下げ**【入】**にし，旋回してください。
6. 上記**【耕うん作業手順】**の手順で作業を行なってください。



管理機の簡単な手入れと処置

注　意

＊ 給排油・点検・調節・清掃は，エンジンを停止して行なってください。
＊ 平坦な場所に機械を安定させて行なってください。

廃棄物の処理について

警　告

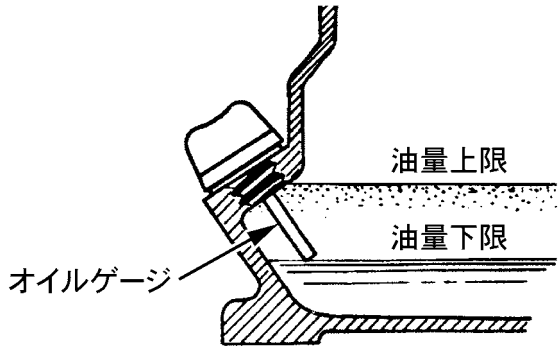
廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

日常の手入れ

■エンジンオイルの交換

◆ 給油のしかた

エンジンを水平にして，オイルゲージを用いて，規定量まで入れてください。



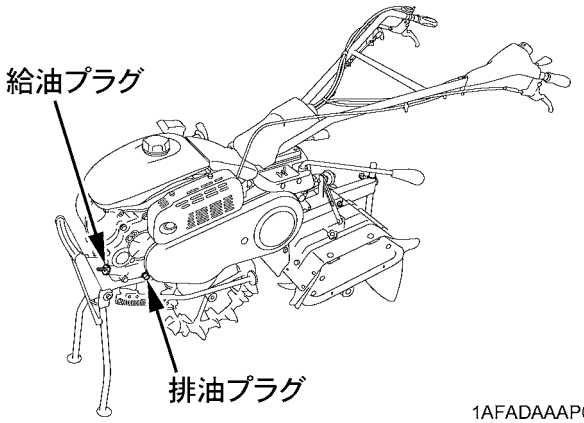
1AFACAAAP064A

◆ 排油のしかた

機体を水平に安定させ排油プラグを外し，排油してください。

重　要

＊ 粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイルスーパー G　10W-30 とご指定の上，お求めください。(次表参照)
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

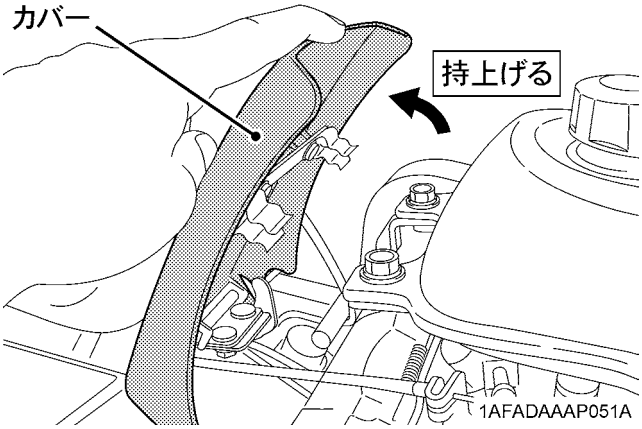


1AFADAAAP002C

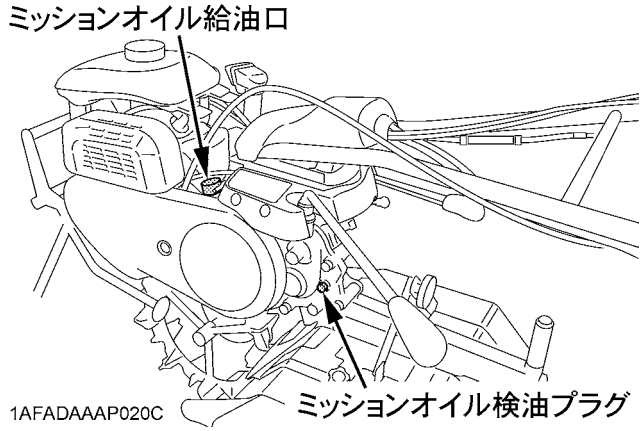
■ミッションオイルの交換

◆ 給油のしかた

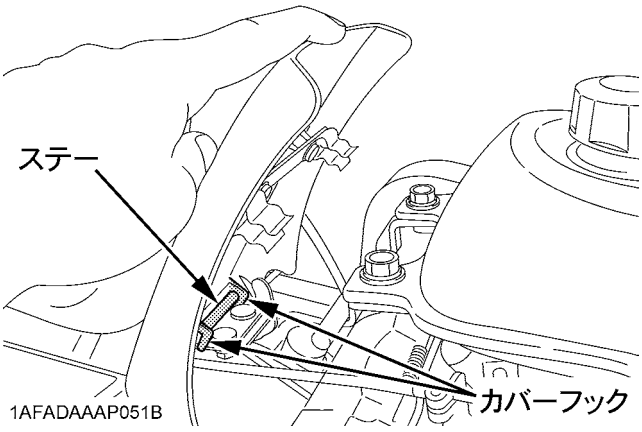
1. ハンドルを最下位置にしてください。
2. カバーを開けるには，カバー前方に手を掛けて持上げると，カバーは外れます。



3. 機体を水平にし，検油プラグまで給油してください。

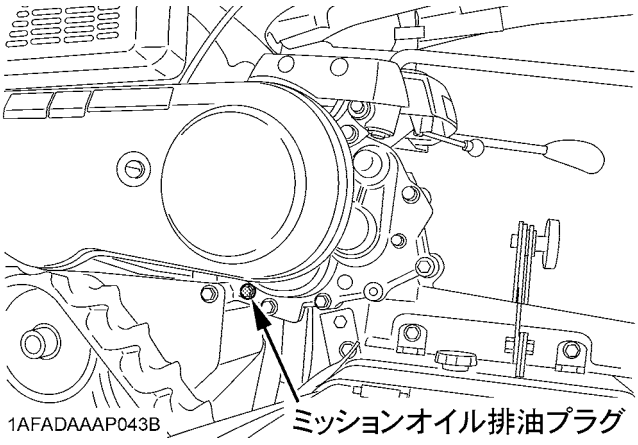


4. 作業が終わったら，ステーにカバーフック部を差込んでから，元の位置に戻してください。



◆ 排油のしかた

ミッションオイル排油プラグを外して排油してください。



重　要

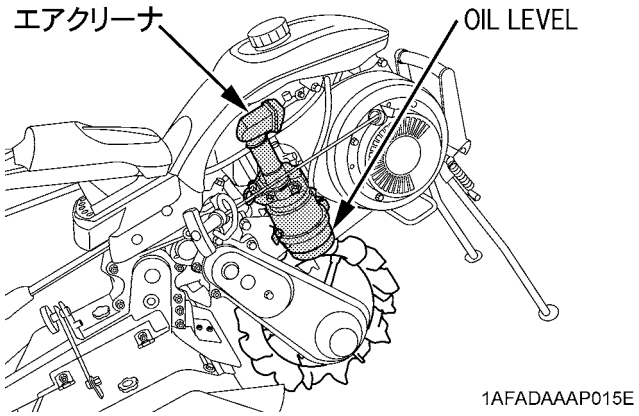
* 粗悪なオイルを使用しますと，機械の寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイル NEW・UDT，スーパー UDT 又はスーパー UDT-2 とご指定の上，お求めください。(次表参照)
* 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。
* オイルを交換する場合は，まず旧油を排出しますが，ケース内のゴミも同時に排出させるために，できるだけ運転使用後，オイルが暖まっている状態の時排出してください。

オイルの点検と交換表

項　目 （オイル量）		点検方法	交　換		オイルの種類
			第一回目	以後	
エンジンオイル	**[TS550(W)]** 0.55L	機体水平	20 時間 使用後	50 時間 使用後	クボタ純オイル （ガソリンエンジン用） スーパー G　10W-30
	[TS750(W)] 0.6L **[PC750]**				
ミッションオイル （0.7L）		機体水平	20 時間 使用後	年一回	クボタ純オイル （ミッション用） NEW　UDT，スーパー UDT 又はスーパー UDT-2

■エアクリーナエレメントの清掃とオイル交換

1. エレメントは時々白灯油で洗い，エンジンオイルを塗布して，よく振切ってから取付けてください。
2. オイルパンはよく洗浄し，新しいエンジンオイルを規定量入れてください。
   - 規定量……**OIL LEVEL** と記載されているところ

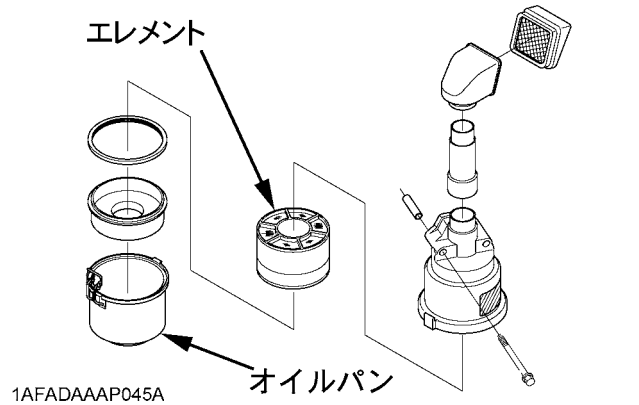


重　要

＊ エアクリーナを取外したままエンジンを運転しないでください。ゴミやホコリを吸い込み，エンジン不調やエンジン異常摩耗の原因となります。
＊ 汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因になります。

エレメント （オイル）	清掃	通常	50 時間ごと
		ホコリの 多い場合	毎日
	交換	汚れがひどいとき	

＊ チリやホコリが多く発生する土入れ作業などで使用する場合は，
　(1) ホコリの少ない方向にエアクリーナ吸込口を向けてください。
　(2) 毎日点検してください。
＊ 規定量よりエンジンオイルを入れ過ぎると，エンジン不調の原因となります。

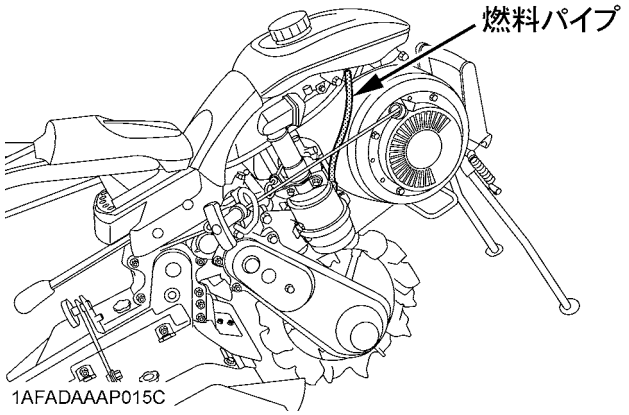


■燃料パイプの交換

警　告

＊ 燃料パイプは自然劣化したり傷があると，ガソリンもれして火災の原因となります。ヒビや割れが発生したものは，新しい燃料パイプと交換してください。

交　換	2年間ごと



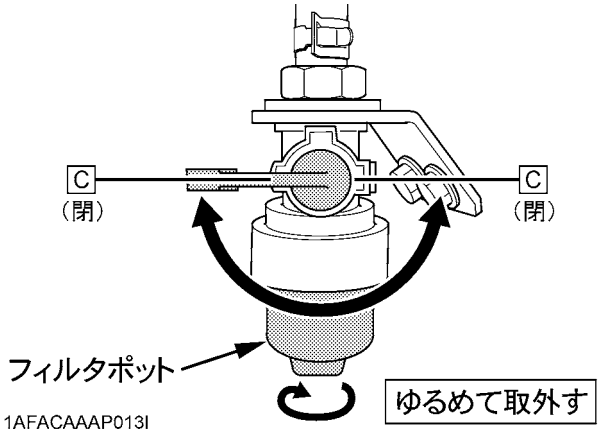
■燃料フィルタの清掃

注　意

＊ 取付け後，ガソリンもれがないか確認してください。

1. 燃料フィルタは，燃料のゴミを取除いてください。取除かれたゴミは，ポットの底にたまります。
2. 燃料コックレバーを**[閉]**にし，フィルタポットを外し，ポットの底にたまっているゴミや水を捨ててください。

100時間使用ごと	フィルタの清掃
300時間使用ごと	タンクの清掃



■タイヤ空気圧（タイヤ仕様の場合のみ）

警　告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，チューブ・リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

空気圧が高すぎても低すぎても，タイヤの寿命を縮めますから，定期的に空気圧を調べ，適正になるように調節してください。

適正空気圧	120kPa（1.2kgf/cm²）

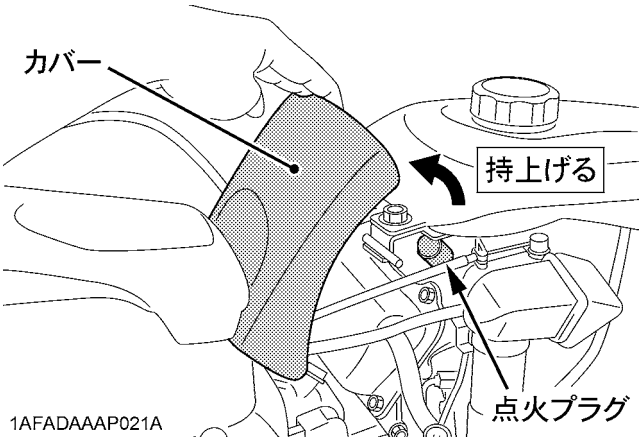
空気を入れるには，エアーコンプレッサ，又は自動車などのタイヤに空気を入れる高圧手押しポンプを用いてください。

TS750WSB1M のみ

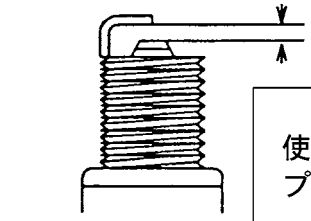
適正空気圧	140kPa（1.4kgf/cm²）

■点火プラグの調節・清掃・交換

1. ハンドルを最下位にしてください。
2. カバーを開けるには，カバー前方に手を掛けて持上げると，カバーは外れます。

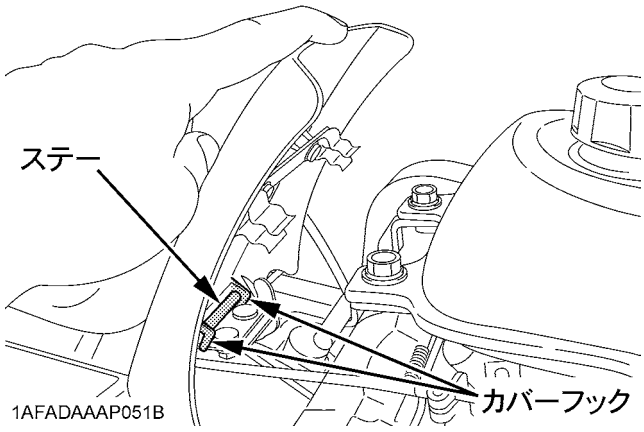


3. プラグ用ボックススパナでプラグを外して，清掃してください。
4. 電極のすきまが 0.9 ～ 1.0㎜ になるように調節してください。
5. 点検調節は６ヶ月に１回行ってください。



使用点火プラグ	(NGK)BP6HS

6. 作業が終わったら，ステーにカバーフック部を差込んでから，元の位置に戻してください。



重　要

＊ プラグ締付け時は，ネジ山をつぶさないように，はじめ手で締め込んでから，ボックススパナで締付けてください。
＊ 調節・清掃してもエンジンが不調なときは，新しいプラグと交換してください。
＊ プラグを外したまま始動操作しないでください。

■主クラッチケーブルの調節

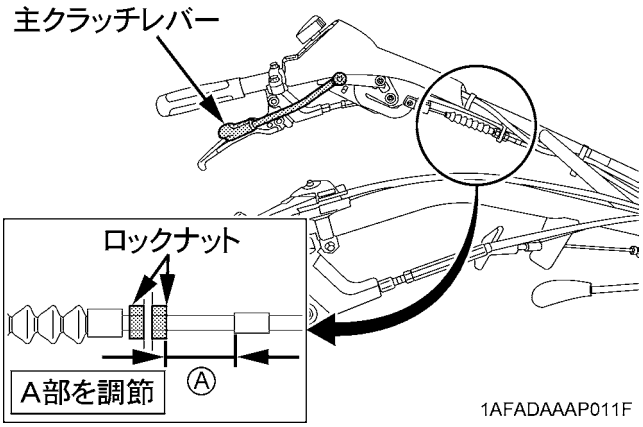
警　告

＊ ベルト調節を行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。
＊ 調節が終わったら必ずベルトカバーを取付けてください。巻き込まれるなど傷害事故を引き起こすおそれがあります。
＊ エンジンを始動する前に，主変速レバーを中立にしてください。
＊ 調節・確認時は周囲に人や動物を近づけないでください。傷害事故を引き起こすおそれがあります。

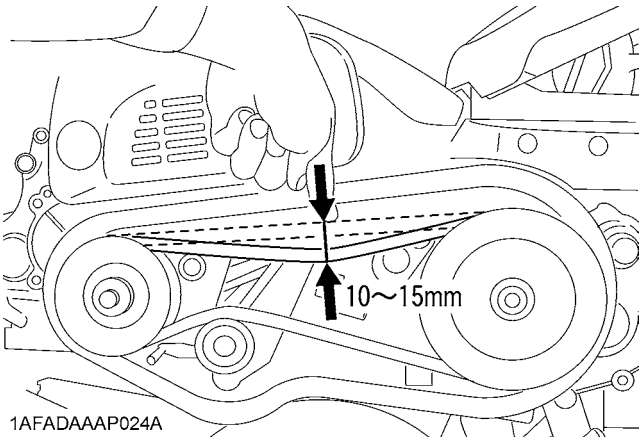
◆ 主クラッチケーブルによる調節

主クラッチレバーを入れた状態でベルトの中央部を指で押えて10～15㎜たわむ程度にケーブル調節金具でテンションプーリを調節してください。なお，使用初期はベルトが伸びやすいため，10時間使用後ケーブルを再調節してください。

ベルトがスリップする場合	調節金具のＡ部を長くする
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具のＡ部を短くする



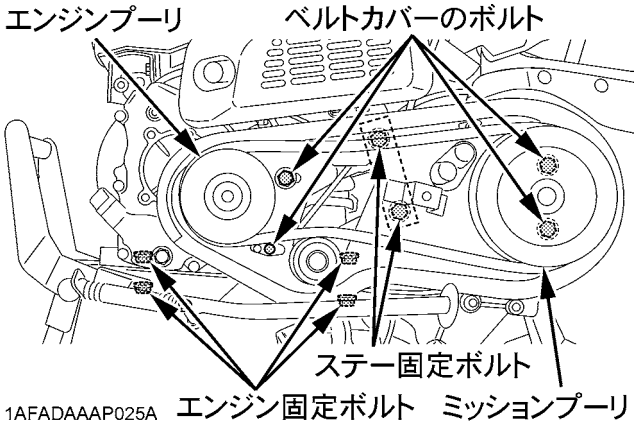
1AFADAAAP011F



1AFADAAAP024A

◆ エンジン前後によるベルトの調節

ベルトが伸びたり，又は新しいベルトに取替えたとき，主クラッチケーブルで主クラッチの調節が出来ない場合は，エンジンを前後に移動調節します。エンジンプーリ，ミッションプーリとベルトカバーのボルト４本を外し，ベルトカバーを取外して，エンジン固定ボルト４本とステー固定ボルト２本をゆるめて調節してください。調節後は確実にボルトを締めてください。



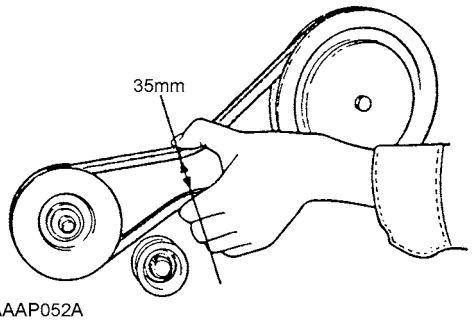
1AFADAAAP025A

重　要

＊ 主クラッチケーブルを調節した場合，エンジンを始動してクラッチの**［入］・［切］**が確実に作動するか確認してください。

◆ 新しいベルトに交換する場合

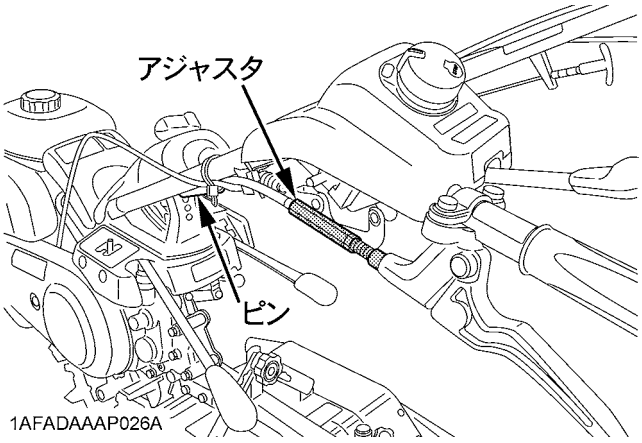
新しいベルトに交換する場合は，ベルト中央部を指ではさんですき間が約35㎜たわむくらいにして，エンジン固定ボルトを締付けてください。その際，２つのプーリが平行で段差がないようにエンジンを固定してください。



1AFACAAAP052A

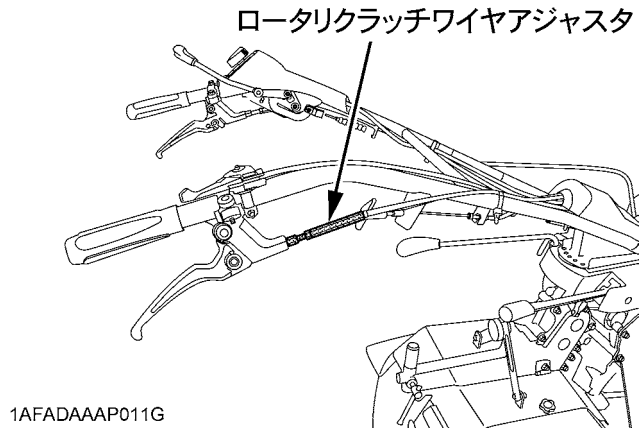
■ハンドル上下調節

ハンドル上下レバーを握ってハンドルが上下に動かない又は調子が悪いときは, ワイヤのアジャスタで調節してください。ハンドルを上下にセットしたときにプレートの穴にピンが確実に入っていることを確認し, アジャスタ部のロックナットで固定してください。



■ロータリクラッチの調整

ロータリクラッチレバーを握り, ロータリが止まらなかったり, すべっていたりレバーにガタがある場合は, ロータリクラッチワイヤのアジャスタで調整してください。



切れにくい場合	アジャスタを長くします
入りにくい場合	アジャスタを短くします

■耕うん爪の取付けかた

警　告

＊ 爪の交換時は，エンジンを停止してください。
＊ サイドカバーを外した時は，危険ですから必ず，爪交換後サイドカバーを確実に取付けてください。
＊ 爪交換時はロータリに付いた土を落とし，ロータリ部が落下しないようにしてください。
＊ 上記の手順をおこたると，傷害事故のおそれがあります。

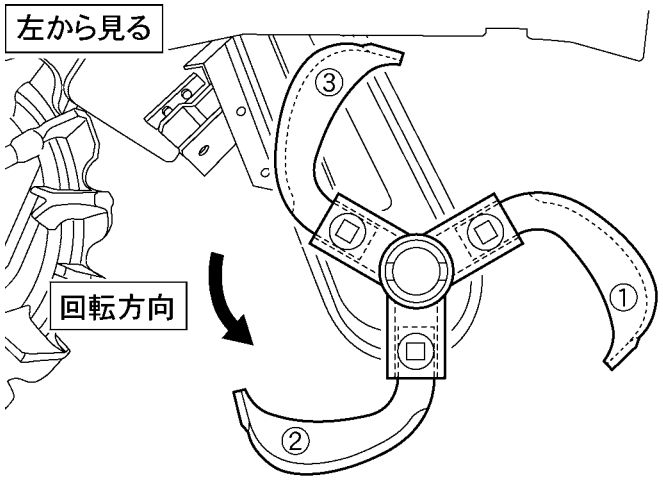
◆ 耕うん爪と爪軸を作業により，下図のように取付けてください。

● 中耕ロータリ（標準仕様）

正転作業

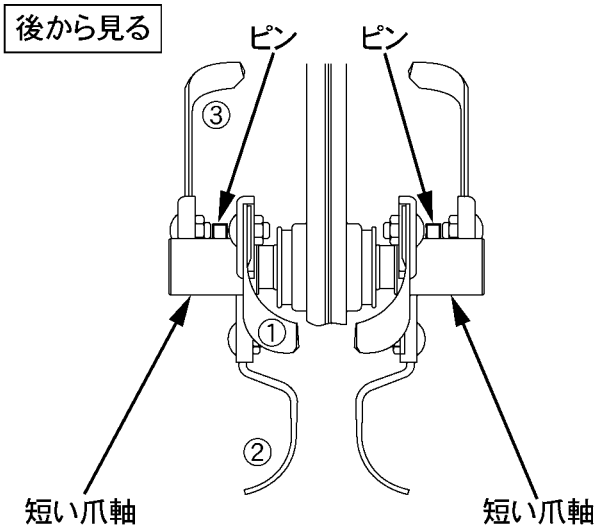
[耕幅 190mm]

左から見る



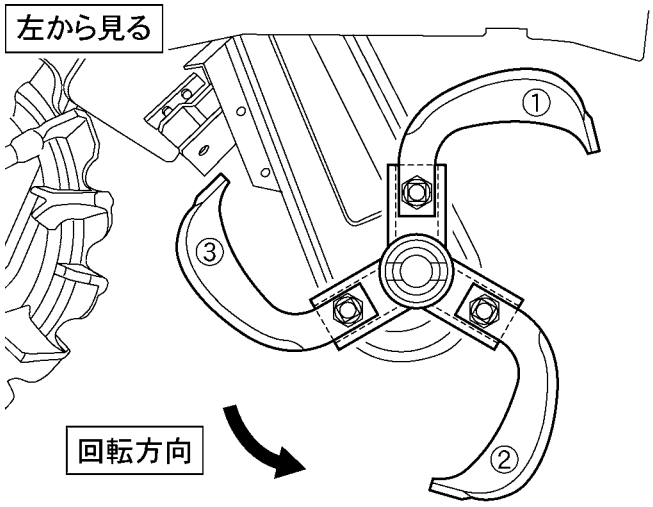
1AFADAAAP038A

後から見る



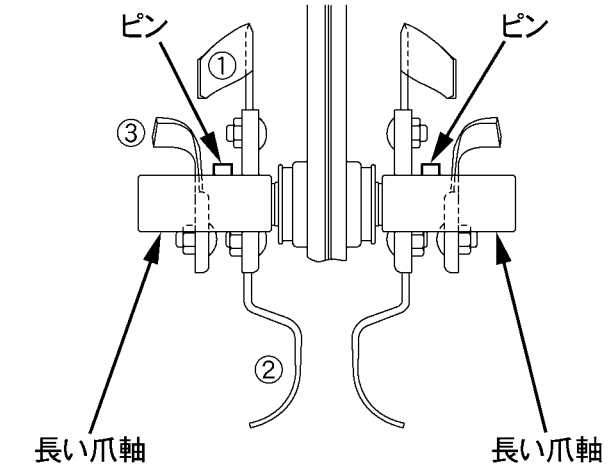
[耕幅 240mm]

左から見る

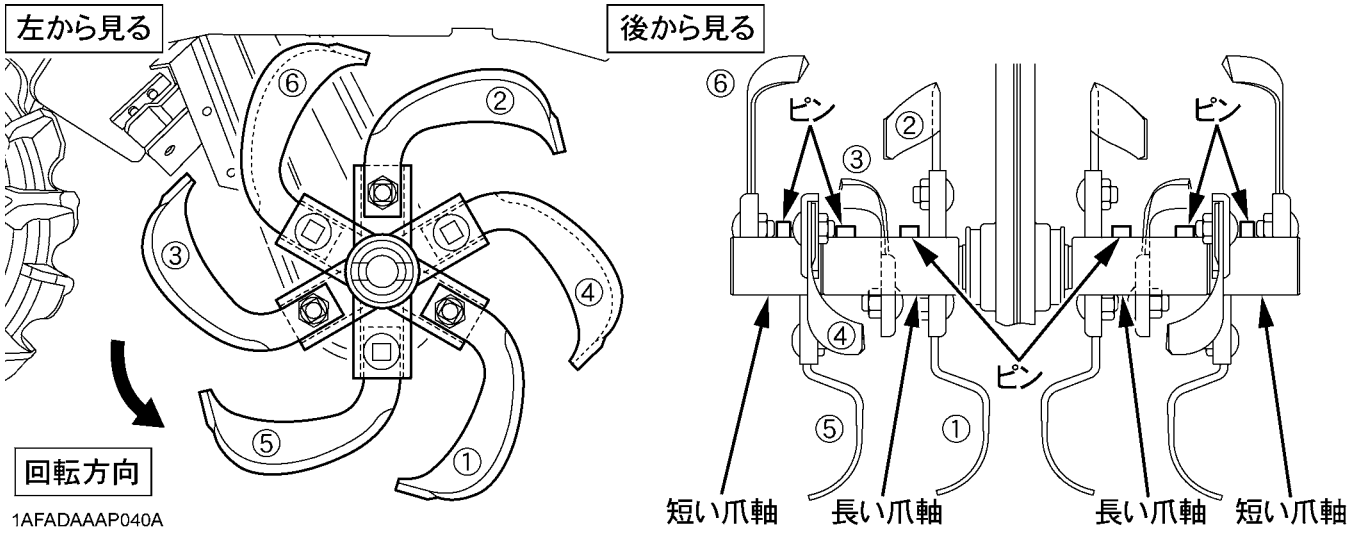


1AFADAAAP039A

後から見る



[耕幅 360mm]



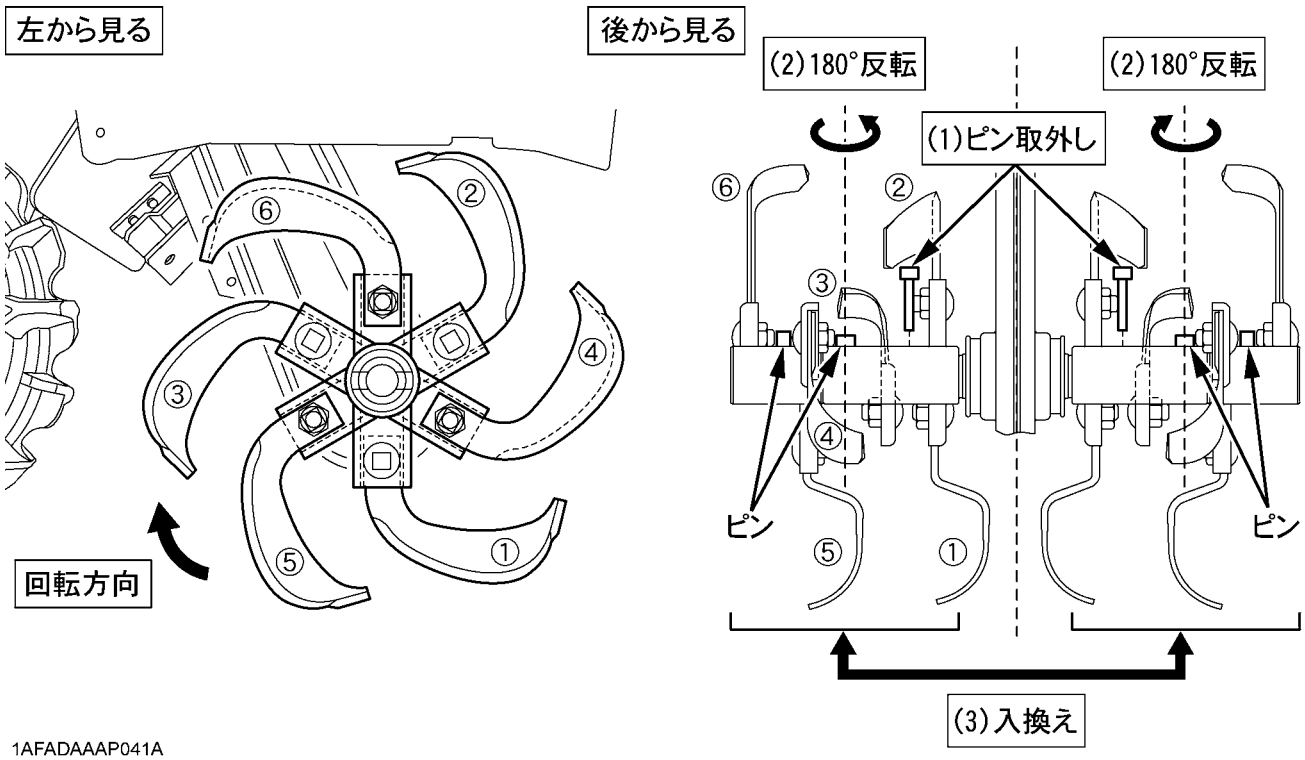
1AFADAAAP040A

逆転作業

[耕幅 360mm]

1. 正転作業時の最内側ピンを取外し，爪軸を抜いてください。
2. 左右の爪軸をそれぞれ 180° 反転し入換え，図のように取付けてください。
3. 左右の爪軸は対称に取付けてください。

＊ 耕幅 190mm，240mm も同様です。



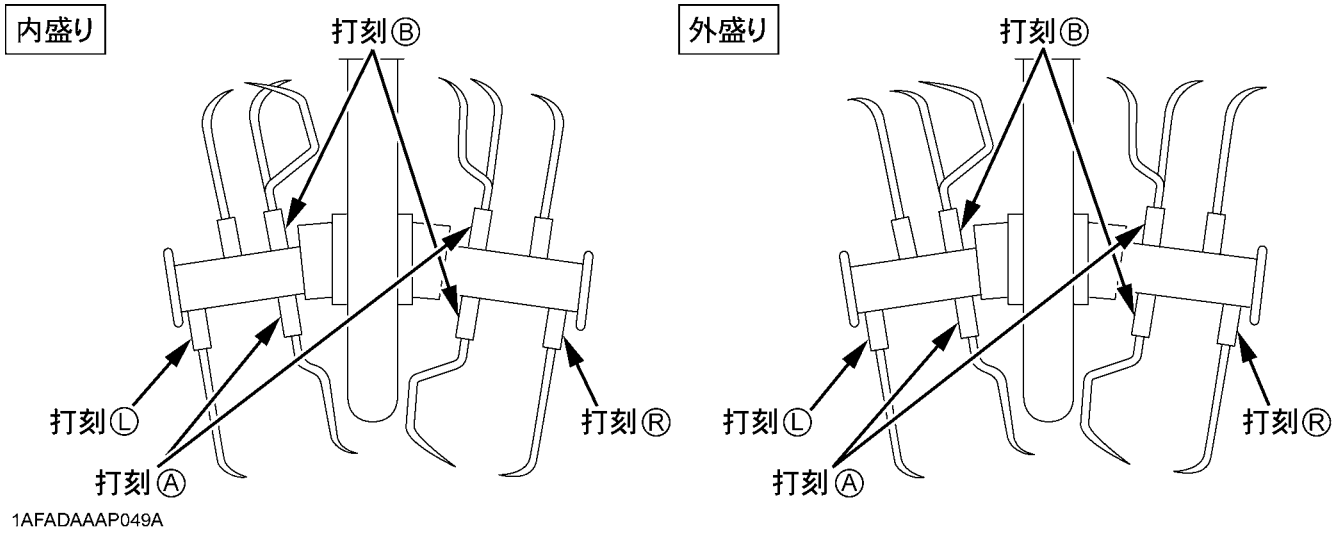
1AFADAAAP041A

重　要

＊ 爪軸を取付けるときは，左右の爪が対称になるよう取付けてください。
＊ 作業前には爪の取付けボルト・ナットにゆるみがないかを確認し，増締めしてください。
＊ 爪交換時は，ボルトを確実に締めてください。

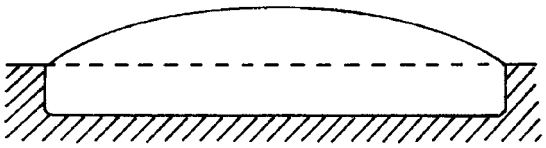
● クロスカット（C 仕様）

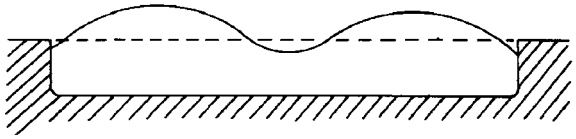
1．左右爪軸ブラケットの打刻 (A) (B) 部に下図のように爪を取付けてください。
2．内盛り・外盛り耕うんに応じ，爪を取付けてください。
打刻 (L) のある爪軸を左側，打刻 (R) のある爪軸を右側に取付けてください。
爪とブラケットのマークを合わせ，同時打込みにしてください。



1AFADAAAP049A

耕うん跡


1AFADAAAP046A


1AFADAAAP047A

重　要

＊ 作業前には爪の取付けボルト・ナットにゆるみがないか確認し，増締めをしてください。
＊ 爪を交換後は，ボルトを確実に締めてください。

使用後の手入れ

使用後は，必ずその日に清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部はさびないように油やグリス及び防錆剤を適宜塗布してください。特にファンカバー内にゴミが詰まりますと，エンジンの焼付きなどの原因になりますので，よく点検・清掃を行なってください。

重　要

＊ 水洗いのとき，エアクリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

■エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めてください。

重　要

＊ コックを開いたままの状態で，保管したり，前に倒したり，また車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

■長期格納時の手入れ

注　意

＊ カバーをかけたり，納屋に格納するときは，火災のおそれがあるため，エンジンが冷えてからにしてください。
＊ 燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。爆発・火災のおそれがあります。

1. 主クラッチレバーは**［切］**の位置にして保管してください。
2. 燃料タンク・キャブレター・フィルタポットの中のガソリンは全て抜取ってください。（１ヶ月以上使用しないとき）
3. オイルを交換し，各部をきれいに掃除してください。
4. エアクリーナエレメントを，掃除してください。
5. エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するため，リコイルスタータハンドルを引っ張って，圧縮位置で止めてください。
6. カバーをかけ，湿気や草・ワラ及びホコリのない場所に置いてください。

重　要

＊ ほ場に保管していると，地面からの湿気が多いのでさびやすくなります。

■燃料の抜取り

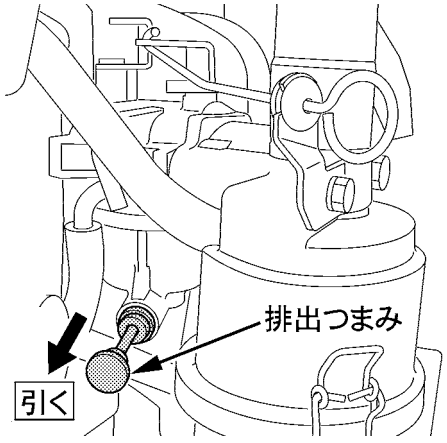
注　意

＊ 燃料がこぼれた時はきれいにふき取ってください。

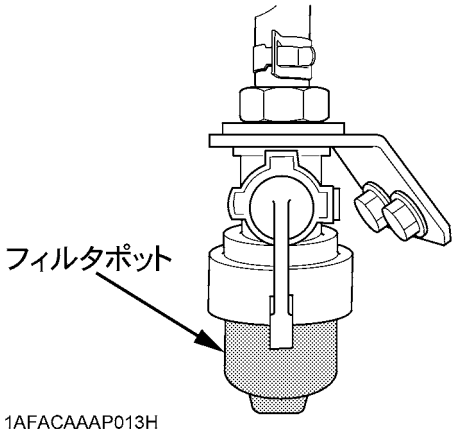
１ヶ月以上使用しないとき，燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜取り，キャブレター内は排出つまみを引いて，フィルタポットは外して全部抜取ってください。

重　要

＊ 燃料をそのままにしておくと，燃料タンクやキャブレター内のガソリンが腐って，次の始動が困難になります。



1AFACAAAP014G



1AFACAAAP013H

洗車時の注意

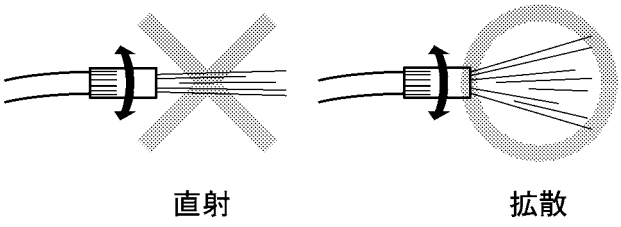
高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

注　意

機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，

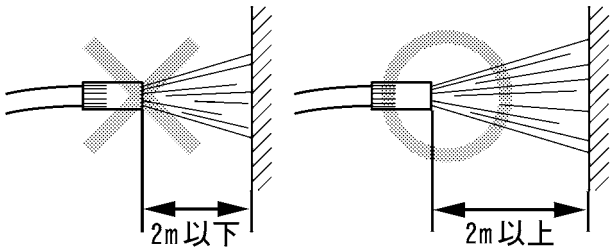
1. **電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。**
2. **機械の破損・損傷・故障の原因になります。**
   例）(1) シール・ラベルの剥がれ
   (2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内などへの浸入による故障
   (3) タイヤ，オイルシールなどのゴム類，樹脂類などの破損
   (4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁



1AGACBRAP067A

近距離洗車厳禁



1AGACBRAP068A

管理機を運搬するとき

注　意

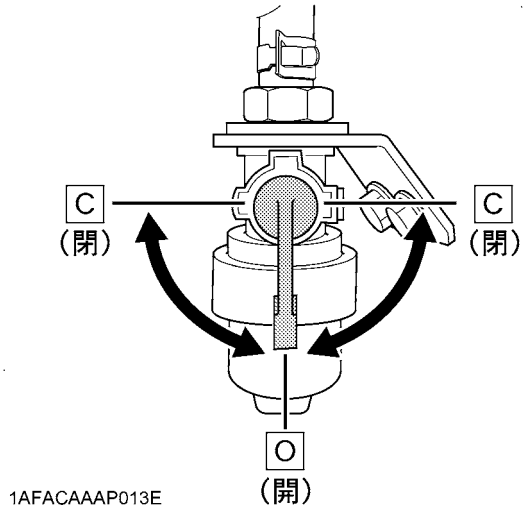
＊ 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
＊ アユミ板はすべり止めの付いた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ［1］に対しアユミ板の長さ［4以上］のものを使用し，確実に固定してください。
＊ 足元に注意し，車速は最低速で上りは［前進］，下りは［後進］で行なってください。
＊ 途中で主クラッチを切ったり，変速操作を絶対にしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
＊ トラックは，荷台に天井がない車を使用してください。首や体をはさまれるおそれがあります。
＊ トラックでの運搬時は，タンク内のガソリンの量を，積込み・積降ろしに必要な最低量とし，残りのガソリンは，別に用意しておいた法で定められたタンクに移して運搬してください。火災のおそれがあります。

自動車（トラック）への積込み，運搬

1. トラックを平坦な場所に止め，駐車ブレーキを掛けてください。
2. あゆみ板を荷台に確実に固定してください。
3. 車速は最低速で，上りは前進**［1速］**で，下りは**［後進］**にしてください。
4. 機体は荷台にロープで確実に固定してください。
5. 機体にロープを掛けるときは，前部プロテクター・抵抗棒・ハンドルの3箇所を固定してください。
6. 燃料コックレバーは**［閉］**にしてください。
7. 雨天時には，エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせてください。

重　要

＊ ロープを掛けるとき，変速レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
＊ エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入り，エアクリーナ性能が低下します。
＊ 燃料コックレバーを**［開］**いたまま運搬すると，キャブレター内でガソリンがオーバーフローし，エンジン始動が困難となります。また，クランクケース内にガソリンが流入することもあります。



1AFACAAAP013E

付表

主要諸元

<table>
<tr><td colspan="3">販売型式名</td><td>TS550</td><td>TS550W</td><td>TS750</td><td>TS750W</td><td>PC750</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機体寸法</td><td colspan="2">全長（ハンドル２段目）(mm)</td><td colspan="5">1465</td></tr>
<tr><td colspan="2">全幅　　(mm)</td><td colspan="5">620</td></tr>
<tr><td colspan="2">全高（ハンドル２段目）(mm)</td><td colspan="4">975</td><td>950</td></tr>
<tr><td colspan="3">機体質量（重量）　　(kg)</td><td>65.5</td><td>68</td><td>69</td><td>71.5</td><td>80</td></tr>
<tr><td rowspan="7">エンジン</td><td colspan="2">型　式</td><td colspan="2">GR130-1-GT-KT1</td><td colspan="3">GR170-1-GT-KT1</td></tr>
<tr><td colspan="2">種　類</td><td colspan="5">空冷４サイクル傾斜型 OHV ガソリンエンジン</td></tr>
<tr><td colspan="2">総排気量　　(L {cc})</td><td colspan="2">0.125 {125}</td><td colspan="3">0.169 {169}</td></tr>
<tr><td colspan="2">連続定格出力
(kW {PS} /rpm)</td><td colspan="2">1.9 {2.6} / 1650</td><td colspan="3">2.7 {3.7} / 1600</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大出力　　(kW {PS})</td><td colspan="2">3.2 {4.3}</td><td colspan="3">4.6 {6.2}</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用燃料</td><td colspan="5">自動車用レギュラーガソリン（無鉛）</td></tr>
<tr><td colspan="2">燃料タンク容量　　(L)</td><td colspan="5">1.5</td></tr>
<tr><td rowspan="10">走行部</td><td colspan="2">始動方式</td><td colspan="5">リコイルスタータ式</td></tr>
<tr><td colspan="2">車輪（ゴムラグ車輪）</td><td>１輪用　１個</td><td>２輪用　２個</td><td>１輪用　１個</td><td>２輪用　２個</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">車輪幅　　(mm)</td><td>90（ラグ幅）</td><td>150・200
（ラグ外幅）</td><td>90（ラグ幅）</td><td>150・200
（ラグ外幅）</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">車輪径　　(mm)</td><td colspan="4">φ330</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゴムクローラ</td><td colspan="4">－</td><td>幅 110mm ×
ピッチ60mm ×
リンク 17</td></tr>
<tr><td colspan="2">主クラッチ方式</td><td colspan="5">ベルトテンション式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">変速段数</td><td>ハンドル正位置　(段)</td><td colspan="5">前進３段・後進１段</td></tr>
<tr><td>ハンドル逆位置　(段)</td><td colspan="5">前進１段・後進２段</td></tr>
<tr><td rowspan="2">走行速度</td><td>ハンドル正位置 (km/h)</td><td colspan="2">前進 1.42 ～ 3.75
後進 1.42</td><td colspan="2">前進 1.46 ～ 3.87
後進 1.46</td><td>前進 1.41 ～
3.71
後進 1.41</td></tr>
<tr><td>ハンドル逆位置 (km/h)</td><td colspan="2">前進 1.42
後進 1.42 ～ 2.63</td><td colspan="2">前進 1.46
後進 1.46 ～ 2.71</td><td>前進 1.41
後進 1.41 ～
2.61</td></tr>
<tr><td colspan="2">車軸の形状・寸法　　(mm)</td><td colspan="5">丸軸・直径 20</td></tr>
<tr><td colspan="2">車軸トルクリミッター装置</td><td colspan="5">有り</td></tr>
<tr><td colspan="3">ハンドル回転</td><td colspan="5">レバーワンタッチピン式（180°，165°，30°，15°）</td></tr>
<tr><td colspan="3">ハンドル上下調節　　(段)</td><td colspan="5">レバーワンタッチ式４段（ハンドル逆転時３段）</td></tr>
</table>

付表

販売型式名		TS550	TS550W	TS750	TS750W	PC750
ロータリ	駆動方式	センタードライブ				
	変速段数 (段)	正転２・逆転２				
	爪軸回転数 (rpm)	正転 231・443 逆転 231・443		正転 238・457 逆転 238・457		
	耕うん幅 (mm)	190・240・360（分割式），クロスカットロータリ［C 仕様］280				
	爪回転径 (mm)	φ330				
	爪軸形状・寸法 (mm)	丸軸・直径 29				
	ロータリカバー形状	開閉，スライド式				

※この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

走行速度一覧表

変　速		TS550	TS550W	TS750	TS750W	PC750
		km/h (m/分)	km/h (m/分)	km/h (m/分)	km/h (m/分)	km/h (m/分)
ハンドル正位置	前進１	1.42 (23.7)		1.46 (24.4)		1.41 (23.4)
	前進２	2.63 (43.9)		2.71 (45.2)		2.61 (43.4)
	前進３	3.75 (62.5)		3.87 (64.4)		3.71 (61.9)
	後進１	1.42 (23.7)		1.46 (24.4)		1.41 (23.4)
ハンドル逆位置	前進１	1.42 (23.7)		1.46 (24.4)		1.41 (23.4)
	後進１	1.42 (23.7)		1.46 (24.4)		1.41 (23.4)
	後進２	2.63 (43.9)		2.71 (45.2)		2.61 (43.4)
条件	定格回転数 (rpm)	1650		1600		
	プーリ外径 (mm)	φ86 -φ136		φ91 -φ136		
	ゴムラグ車輪	φ330				－

標準付属部品

品名	数量 / 台	備考
プラグボックス	1	
取扱説明書	1	
保証書	1	
ガソリンメンテナンス要領書	1	

主な消耗部品一覧表

● 本機関係

品　名	品　番	数　量					備　考
		TS550 ［C 仕様］	TS550W ［C 仕様］	TS750 ［C 仕様］	TS750W ［C 仕様］	PC750 ［C 仕様］	
V ベルト（LB38）	KE050-3717-0	1					
ケーブル（シュクラッチ）	LK510-4224-0	1					
ケーブル（ロータリクラッチ）	LK510-4225-0	1					
ケーブル（ハンドルジョウゲ）	LK510-4242-0	1					
ケーブル（スタンド）	LK510-4243-0	1	－	1	－		
コード（メインスイッチ）	LK510-5512-0	1					
コード（セーフティユニット）	LK510-5516-0	1					
シャジクピン	KE010-3502-0	1	2	1	2	－	車輪取付用
トメピン	KE010-3503-0	1	2	1	2	1	車輪取付用
オイルシール	KE010-3210-0	1	2	1	2	－	車軸用
オイルシール	09500-20477	－				1	車軸用
ピン（シャジク）	LK411-3505-0	－				1	駆動スプロケット取付用
オイルシール	KE010-3210-0	－				2	テンリン表側
オイルシール	54311-1719-0	－				2	テンリン裏側
オイルシール	54311-1719-0	2					耕うん軸用
ローターピン	KE010-4405-0	6［2］					爪軸用
スナップピン	05515-51000	6［2］					爪軸用
チュウコウヅメ ヒダリ	91183-1015-0	4［3］					
チュウコウヅメ ミギ	91183-1016-0	4［3］					
ヘンケイチュウコウヅメ ヒダリ	91183-1017-0	2［－］					
ヘンケイチュウコウヅメ ミギ	91183-1018-0	2［－］					
ヘンケイチュウコウヅメ ヒダリ	91183-1011-0	－［1］					
ヘンケイチュウコウヅメ ミギ	91183-1012-0	－［1］					
ギャクヘンケイチュウコウヅメ ヒダリ	91183-1013-0	－［1］					
ギャクヘンケイチュウコウヅメ ミギ	91183-1014-0	－［1］					
ツメトリツケボルト	91183-1022-0	12［10］					爪取付用，M10
バネザガネ	04512-50100	12［10］					爪取付用，M10
ナット	02118-50100	12［10］					爪取付用，M10

付表

● エンジン関係

品　名	品　番	数　量			備　考
		TS550(W)	TS750(W)	PC750	
スパークプラグ	13902-6771-0	1			
フィルタエレメント	12866-4316-0	1			燃料用
パッキン	12866-4314-0	1			燃料用
フューエルチューブ	09661-60240	1	―		燃料タンクからフィルタポット
フューエルチューブ	09661-60260	―	1		燃料タンクからフィルタポット
フューエルチューブ	09664-60130	1			フィルタポットからキャブレター
エレメント，アッシ(エアクリーナ)	E3174-1118-0	1			エアクリーナ用
ガスケット（オイルパン）	E3174-1130-0	1			エアクリーナ用

トラブルと処置

■ エンジンが始動しないとき

原　因	処　置
● 始動の手順が間違っている。	正しい順序で始動してください。(13 ページの「運転のしかた」を参照)
● タンクにガソリンを入れたまま 1 ヵ月以上保管しガソリンが劣化した。	タンク・キャブレター内の劣化したガソリンを排出し，新しいガソリンを入れてください。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外してフィルタエレメントを清掃する。また新しい物と交換してください。 キャブレター内のガソリンも排出してください。
● チョークを引いた（閉じた）状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	チョークを戻し（開き）リコイルを引くか，点火プラグを外して乾燥させてください。
● エンジン停止後，燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり，車両で運搬したためキャブレターがオーバーフローした。	クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換してください。
● エアクリーナエレメントが目詰まりしている。	エレメントを外して清掃してください。 または新しい物と交換してください。
● 点火プラグの火花が弱い，飛ばない。	点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。または，新しい物と交換してください。

■ エンジン回転が上がらない，不安定，出力が不足するとき

原　因	処　置
● エンジンが暖まってもチョークを引いた（閉じた）まま運転している。	チョークを戻してください（開く）。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外して清掃してください。 キャブレター内のガソリンも排出してください。
● エアクリーナエレメントが汚れている。	エレメントを外して清掃してください。
● スロットルケーブルの引っ張りが不足している。	ケーブルのセット位置を調節してください。

■ エンジンが振れる，異音が発生する

原　因	処　置
● エンジン取付けボルトがゆるんでいる。	取付けボルトを締付けてください。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは，購入先にご相談ください。

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は まず，購入先へ ご相談ください

おぼえのため，該当する項目に記入されると便利です

<table>
<tr><td colspan="2">購入先名

担当

電話番号（　　）　　－</td><td>型式名

区分

車台番号（製造番号）

エンジン型式

エンジン番号</td></tr>
<tr><td>ご購入日</td><td>キーナンバー</td><td rowspan="2">その他装着型式

機械番号</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※ご記入の際には、サービスと保証のページをご参照ください。
なお、型式により該当しない記入項目もあります。

ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタアグリサービス株式会社

北海道事務所：電(011)376-4434	〒061-1274	北海道北広島市大曲工業団地３－１
秋田事務所：電(018)845-1601	〒011-0901	秋田市寺内字大小路207-54
仙台事務所：電(022)384-5162	〒981-1221	宮城県名取市田高字原182－１
東京事務所：電(048)862-1124	〒338-0832	さいたま市桜区西堀５－２－36
新潟事務所：電(025)285-1261	〒950-0992	新潟市中央区上所上１-14-15
金沢事務所：電(076)275-1121	〒924-0038	石川県白山市下柏野町956－１
名古屋事務所：電(0586)24-5111	〒491-0031	愛知県一宮市観音町１－１
大阪事務所：電(06)6470-5850	〒661-8567	兵庫県尼崎市浜１－１－１
岡山事務所：電(086)279-4511	〒703-8216	岡山市東区宍甘275
米子事務所：電(0859)39-3181	〒689-3547	鳥取県米子市流通町430-12
福岡事務所：電(092)606-3161	〒811-0213	福岡市東区和白丘１－７－３
熊本事務所：電(096)357-6181	〒861-4147	熊本市南区富合町廻江846－１
株式会社四国クボタ本社：電(087)874-8500	〒769-0102	香川県高松市国分寺町国分字向647－３

株式会社クボタ

国内農機カスタマーセンター：電(072)241-1375	〒590-0823	大阪府堺市堺区石津北町64

TS550(W)/750(W)/PC750
AR．A．6-7．20．AK

Kubota

安全宣言

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

LEMA
陸内協排出ガス自主規制適合

このラベルは「(社)日本陸用内燃機関協会排出ガス自主規制適合エンジン」であることを示しています。

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号
TEL.06-6648-2111
FAX.06-6648-3862

品番　LK510-6511-4